

第 48 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議

日時：令和 3 年 5 月 6 日（木）14 時 00 分～

場所：大阪府新別館南館 8 階 大研修室

次 第

議 題

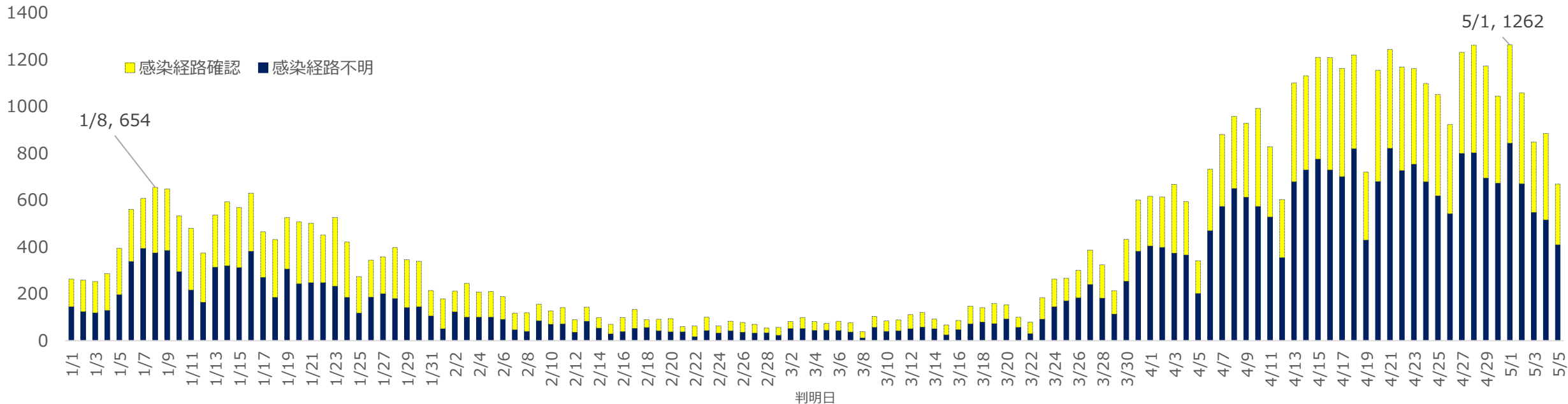
（1）現在の感染状況・療養状況等

- ・現在の感染状況について【資料 1 - 1】
- ・現在の療養状況について【資料 1 - 2】
- ・療養者数のシミュレーションについて【資料 1 - 3】
- ・感染状況と医療提供体制の状況について【資料 1 - 4】
- ・宿泊療養施設の確保について【資料 1 - 5】
- ・滞在人口の推移【資料 1 - 6】
- ・感染に強い飲食店に向けた取組み（昼間の見回り調査）【資料 1 - 7】
- ・営業時間短縮要請の実効性確保に向けた取組み【資料 1 - 8】

（2）緊急事態措置を実施すべき期間の延長に関する要請等

- ・緊急事態措置を実施すべき期間の延長に関する要請【資料 2 - 1】
- ・専門家のご意見【資料 2 - 2】

陽性者数の推移



1月9日
緊急事態宣言発出要請

1月14日～2月28日
緊急事態措置
レイトステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

2月23日
緊急事態宣言解除要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会に伴う花見の自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（21日）
首都圏への往来自粛要請（22日）等

3月31日 まん延防止等重点措置要請

4月1日～
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪市）
時短要請20時

4月7日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）
4月8日 府域における不要不急の外出移動
自粛要請

4月9日 週末の外出移動自粛要請
4月14日 大学等でのオンライン授業実施や
学校での部活動休止、テレワーク
徹底等を要請

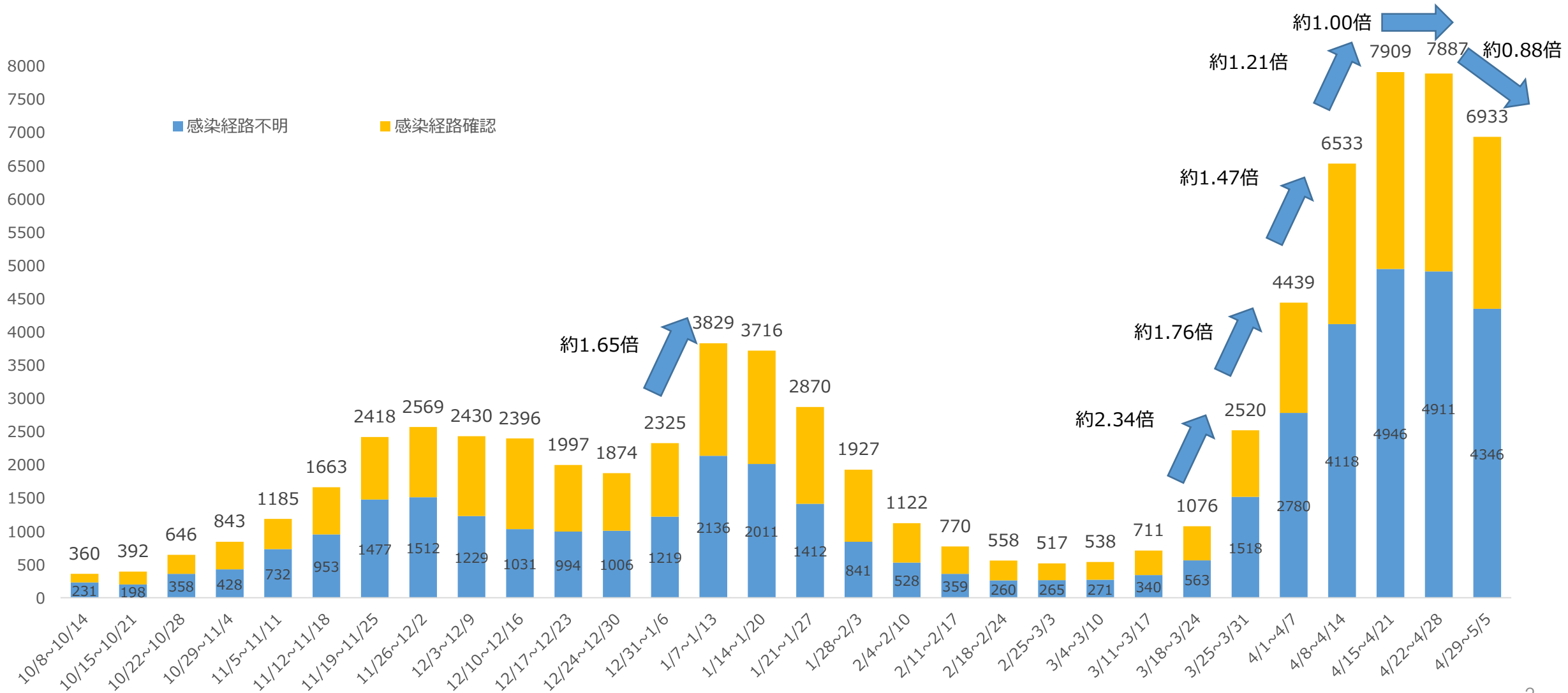
4月20日 緊急事態宣言発出要請

4月23日 緊急事態宣言発出決定

4月25日 緊急事態措置適用（5/11）
不要不急の外出自粛要請、飲食店・一部
施設への休業要請等

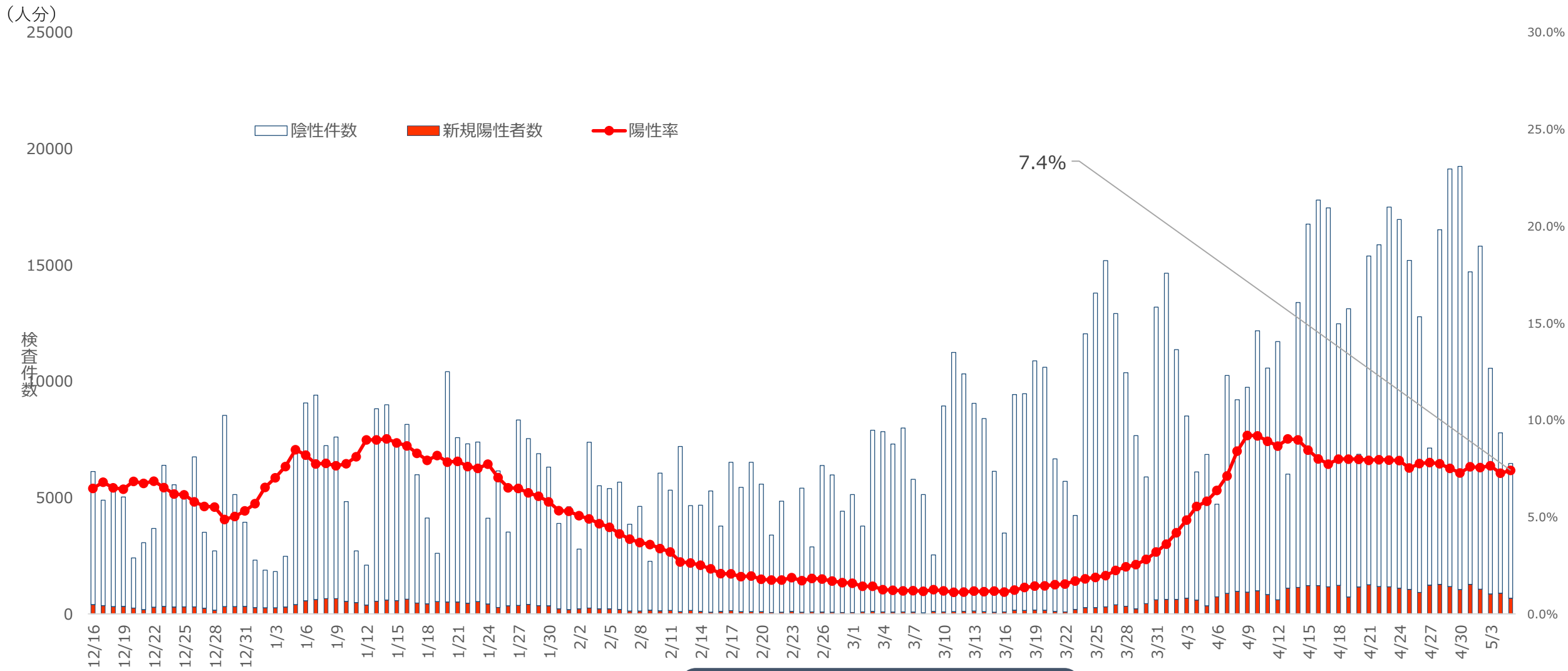
7日間毎の新規陽性者数

直近1週間は前週に比べ減少しているが、一日平均約990名であり、極めて高水準で推移。
ゴールデンウィーク中の検査数減少に伴い、6日以降の新規陽性者数の推移に留意が必要。



検査件数と陽性率

4月以降、約8%前後と高い水準で推移。(ゴールデンウィーク中、検査件数は減少)



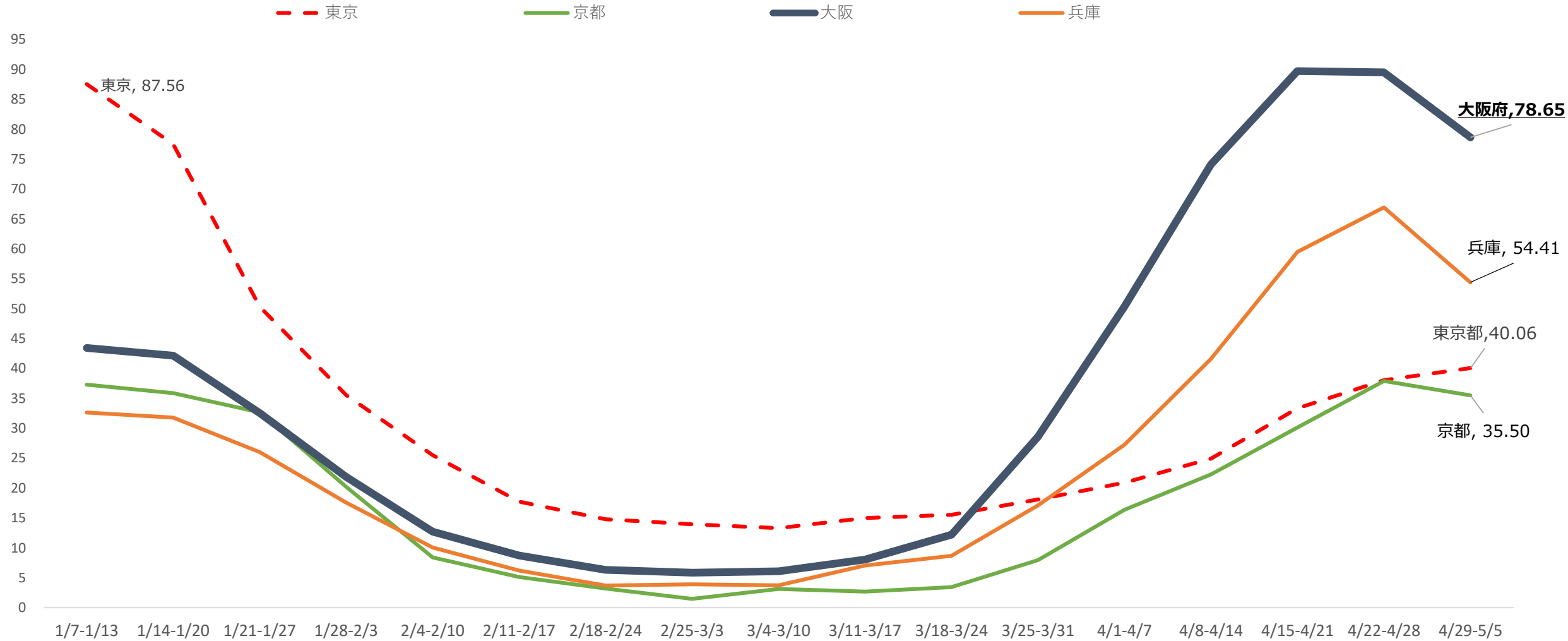
4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5
16515	19123	19239	14699	15809	10558	7781	6465

※12月15日より国システム (G-MIS) を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

判明日

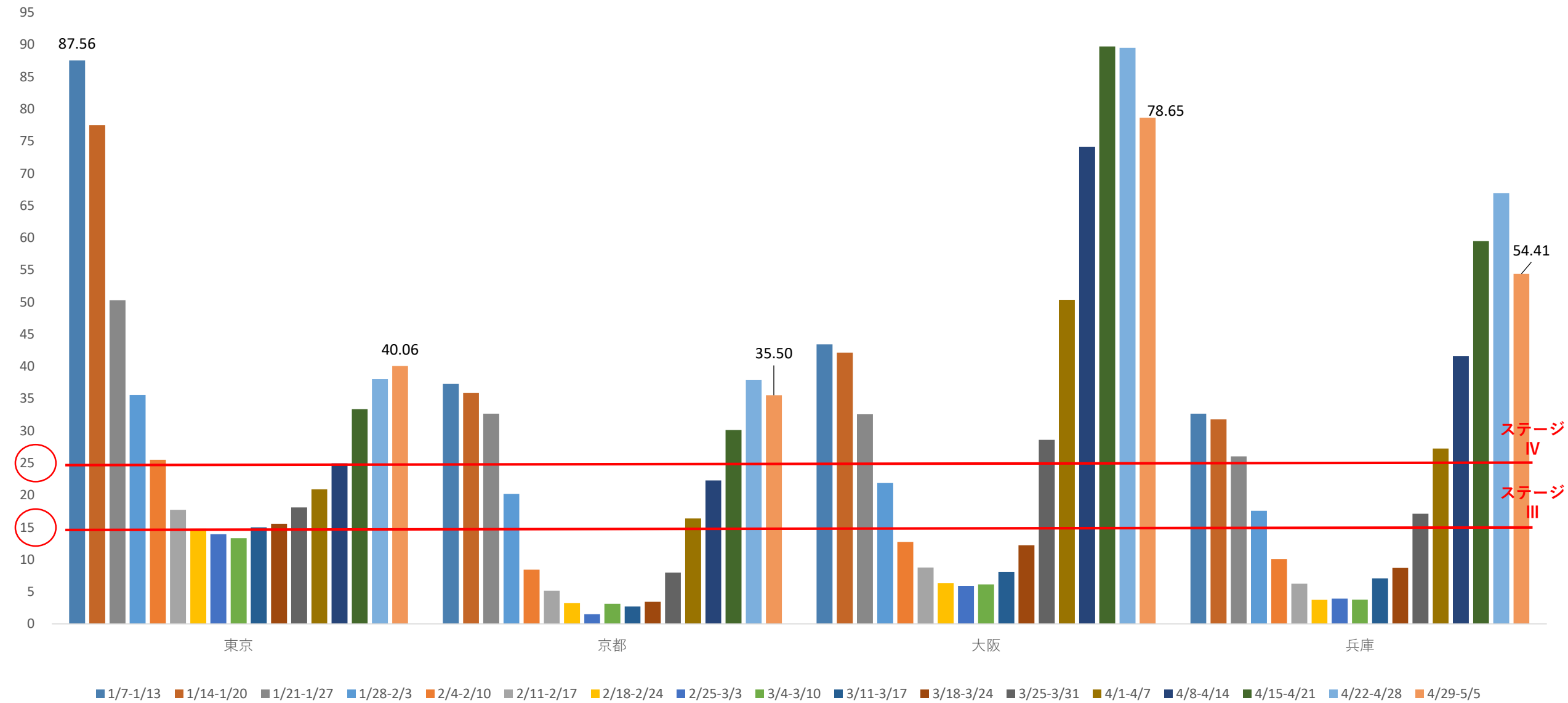
週・人口10万人あたり新規陽性者数(緊急事態措置適用区域)

直近1週間で、2府1県は減少に転じている。



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

週・人口10万人あたり新規陽性者数 (緊急事態措置適用区域)



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

直近2日間は、市中での感染拡大状況や新規陽性患者の拡大状況の指標にやや改善傾向が見られるが、病床等のひっ迫はさらに強まっている。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	4/20	4/23	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.23	1.13	0.98	1.01	1.07	1.04	0.96	0.88	5/4以降1を下回る
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	693.43	703.00	685.43	709.00	716.43	717.29	676.86	620.86	5/4以降減少
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	58.8%	64.8%	64.3%	66.7%	63.3%	64.6%	58.3%	61.2%	3/24以降、50%を超過したまま推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	7797	7822	7774	7939	7946	7871	7525	6933	5/5に7000人を下回る
	うち後半3日間		—	—	—	3091	3570	3475	3477	3362	3166	2788	2399	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	88.45	88.73	88.19	90.06	90.14	89.29	85.37	78.65	5/3以降減少
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	8.0%	7.9%	7.3%	7.6%	7.5%	7.6%	7.3%	7.4%	3/14以降、8%前後で高止まり
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床利用率（運用率）	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続60%未満	60%未満	114.7% (99.2%)	123.2% (97.2%)	153.1% (98.3%)	157.6% (98.3%)	158.9% (98.6%)	160.7% (99.7%)	159.4% (98.9%)	166.1% (103.0%)	5/5に重症病床運用率が100%を超過
	【参考③】患者受入軽症中等症病床利用率	—	—	—	—	78.9%	81.3%	79.7%	77.2%	78.2%	76.7%	80.9%	82.4%	5/4以降8割を超過
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数利用率	—	—	—	—	39.6%	46.7%	52.9%	52.6%	52.1%	52.6%	51.5%	50.4%	4/25以降、5割を超過

- ・大阪モデルの重症病床利用率は、病床確保計画の確保病床数224床で算出。重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を除く。
- ・括弧内は、病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含んだ運用病床に占める、重症病床入院者数（※）の割合。
（※）対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を除き、かつ、医療機関が重症病床として運用計画を大阪府に提出していない病床に入院している重症者数を含む。

4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）
4/23 緊急事態宣言発令決定、府としての措置を決定（第47回対策本部会議）

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

緊急事態宣言発令決定の4/23以降も、各指標に改善傾向は見られない。
 (緊急事態措置の効果が表れると考えられるのは、5/9以降)

指標		ステージIV 目安	3/1	4/1	4/23	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/5時点の 目安に対する状況		
ステージIV	医療提供体制等の負荷	医療の逼迫具合	①確保病床占有率	50%以上	30.4% (601/1,978)	42.6% (847/1,990)	83.5% (1,751/2,097)	82.5% (1,974/2,394)	80.3% (1,968/2,450)	81.2% (1,994/2,455)	80.2% (1,968/2,455)	83.5% (2,051/2,455)	85.5% (2,108/2,466)	●
			②入院率	25%以下	56.1% (601/1,072)	23.3% (847/3,630)	11.0% (1,751/15,874)	10.3% (1,974/19,118)	10.0% (1,968/19,705)	9.9% (1,994/20,146)	9.7% (1,968/20,269)	10.0% (2,051/20,528)	10.0% (2,108/20,210)	●
			③重症病床確保病床占有率	50%以上	35.0% (143/408)	29.3% (135/460)	66.0% (346/524)	75.6% (445/589)	80.0% (479/599)	80.2% (482/601)	80.9% (486/601)	80.4% (483/601)	82.9% (498/601)	●
			④人口10万人あたり療養者数	30人以上	12.16	41.18	180.08	216.88	223.54	228.54	229.94	229.87	229.27	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均	10%以上	1.6%	3.6%	7.9%	7.3%	7.6%	7.5%	7.6%	7.3%	7.4%	○	
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	25人以上	5.67	32.56	88.73	88.19	90.06	90.14	89.29	85.37	78.65	●	
		⑦感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	47.4%	61.0%	62.9%	61.7%	62.5%	63.1%	63.8%	63.0%	62.7%	●	

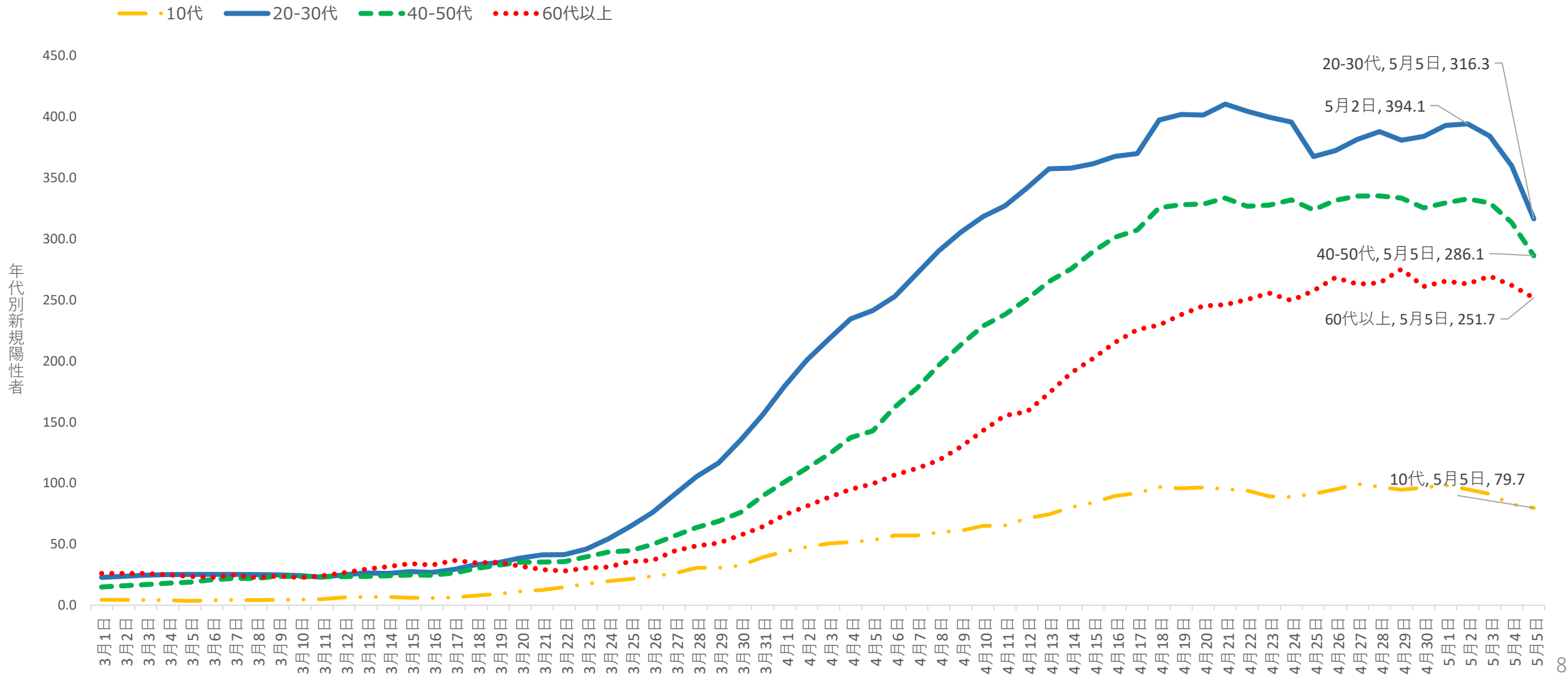
入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。
 重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除き、他府県で受け入れている重症者数は含む。

●：基準外 ○：基準内

4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）
 4/23 緊急事態宣言発令決定、府としての措置を決定（第47回対策本部会議）

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

20・30代新規陽性者数は5月3日以降減少に転じ、他の年代も同様に減少傾向。



【第四波】推定感染日別陽性者数

推定感染日別陽性者は4月中旬まで高止まりが続いた後、減少に転じている。

(ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。)

(3月1日以降5月5日までの判明日分) (N=32,605名(調査中、無症状6,176名を除く))

感染から発症まで6日、
発症から陽性判明まで7日と仮定すると、
概ねこの点線枠囲み期間は、
今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

陽性者数

■ 感染経路不明(推定感染日別) ■ 感染経路確認(推定感染日別) ■ 発症日不明事例 — 新規陽性者数(判明日別)

※推定感染日：発症日から6日前と仮定
潜伏期間は1-14日間(一般的には約5-6日)とされていることから、6日前と仮定
(「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より)

※新規陽性者増加に伴い、有症状で発症日が確認
できなかった事例について、陽性判明日から13日
遡って算出
(陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を
越えた4/6分より追加)

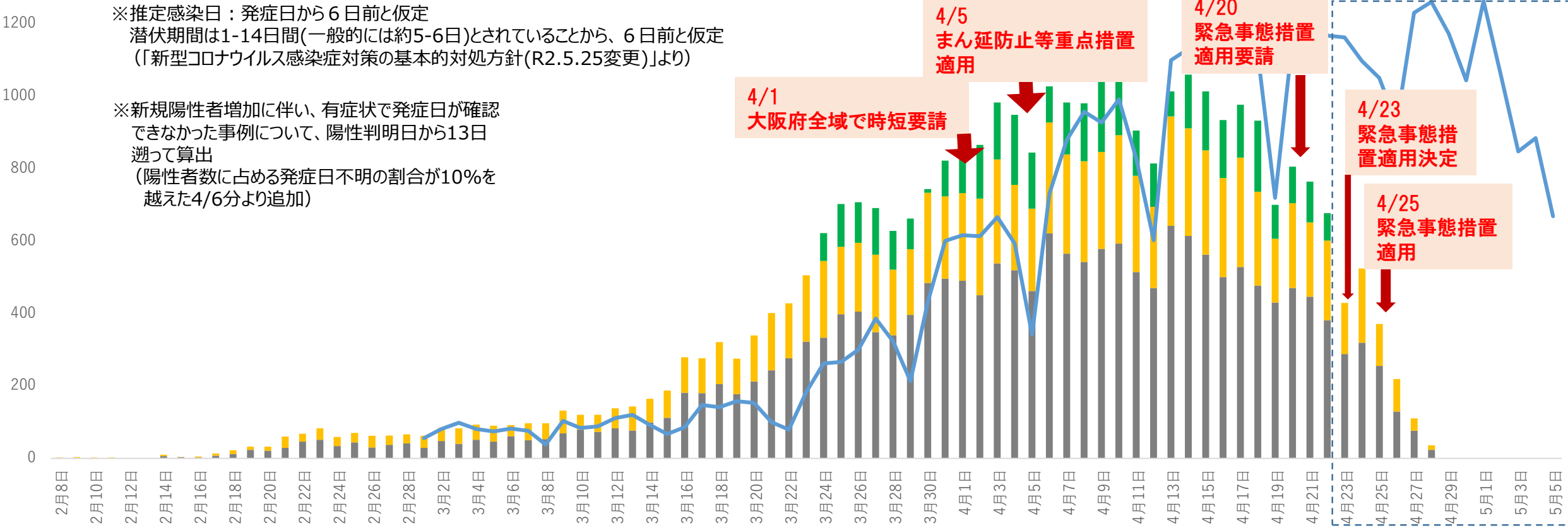
4/1 大阪府全域で時短要請

4/5 まん延防止等重点措置適用

4/20 緊急事態措置適用要請

4/23 緊急事態措置適用決定

4/25 緊急事態措置適用



	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5
有症状の陽性者 数に占める発症 日不明の割合	1.1%	1.7%	2.3%	1.9%	4.7%	0.9%	2.5%	10.5%	13.4%	11.7%	13.9%	11.1%	10.4%	1.7%	9.2%	9.0%	12.3%	13.0%	16.6%	12.7%	13.9%	12.4%	13.0%	16.9%	13.8%	11.4%	11.4%	7.3%	12.0%	12.9%	13.7%	14.0%	15.5%	8.9%	11.9%	12.8%	11.4%

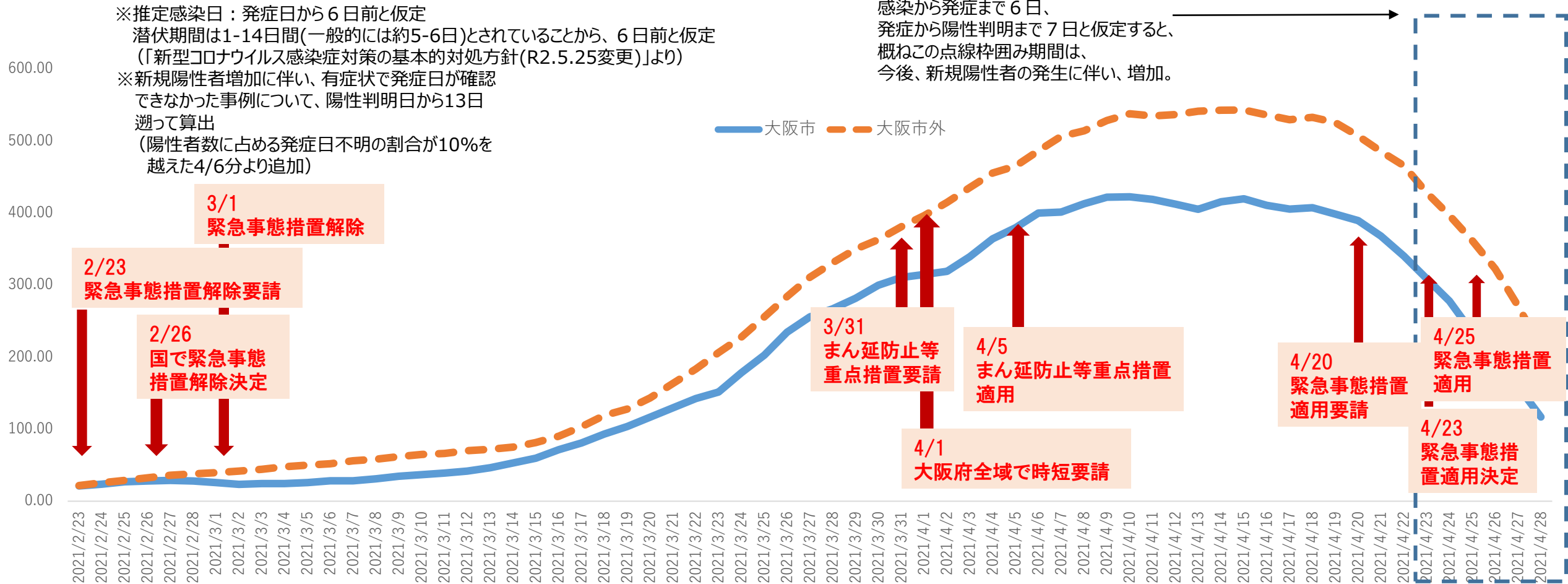
推定感染日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、無症状等を除く

まん延防止等重点措置適用後は横ばいで推移し、緊急事態措置適用要請前後から減少傾向が見られる。
 （ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。）

※推定感染日：発症日から6日前と仮定
 潜伏期間は1-14日間（一般的には約5-6日）とされていることから、6日前と仮定
 （「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R2.5.25変更）」より）
 ※新規陽性者増加に伴い、有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から13日遡って算出
 （陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を越えた4/6分より追加）

感染から発症まで6日、
 発症から陽性判明まで7日と仮定すると、
 概ねこの点線枠囲み期間は、
 今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。



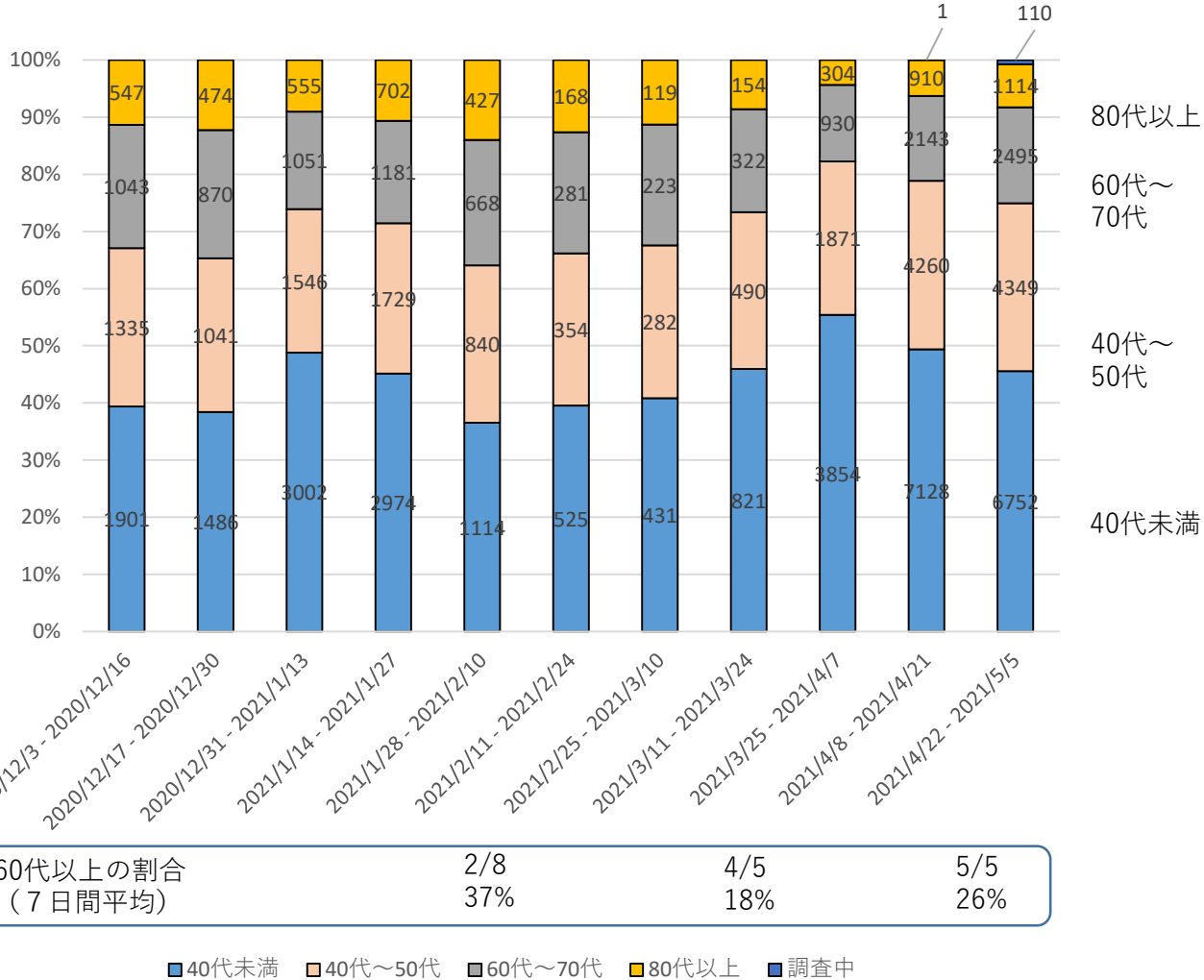
	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5
有症状の陽性者数に占める発症日不明の割合	1.1%	1.7%	2.3%	1.9%	4.7%	0.9%	2.5%	10.5%	13.4%	11.7%	13.9%	11.1%	10.4%	1.7%	9.2%	9.0%	12.3%	13.0%	16.6%	12.7%	13.9%	12.4%	13.0%	16.9%	13.8%	11.4%	11.4%	7.3%	12.0%	12.9%	13.7%	14.0%	15.5%	8.9%	11.9%	12.8%	11.4%

陽性者の年齢区分

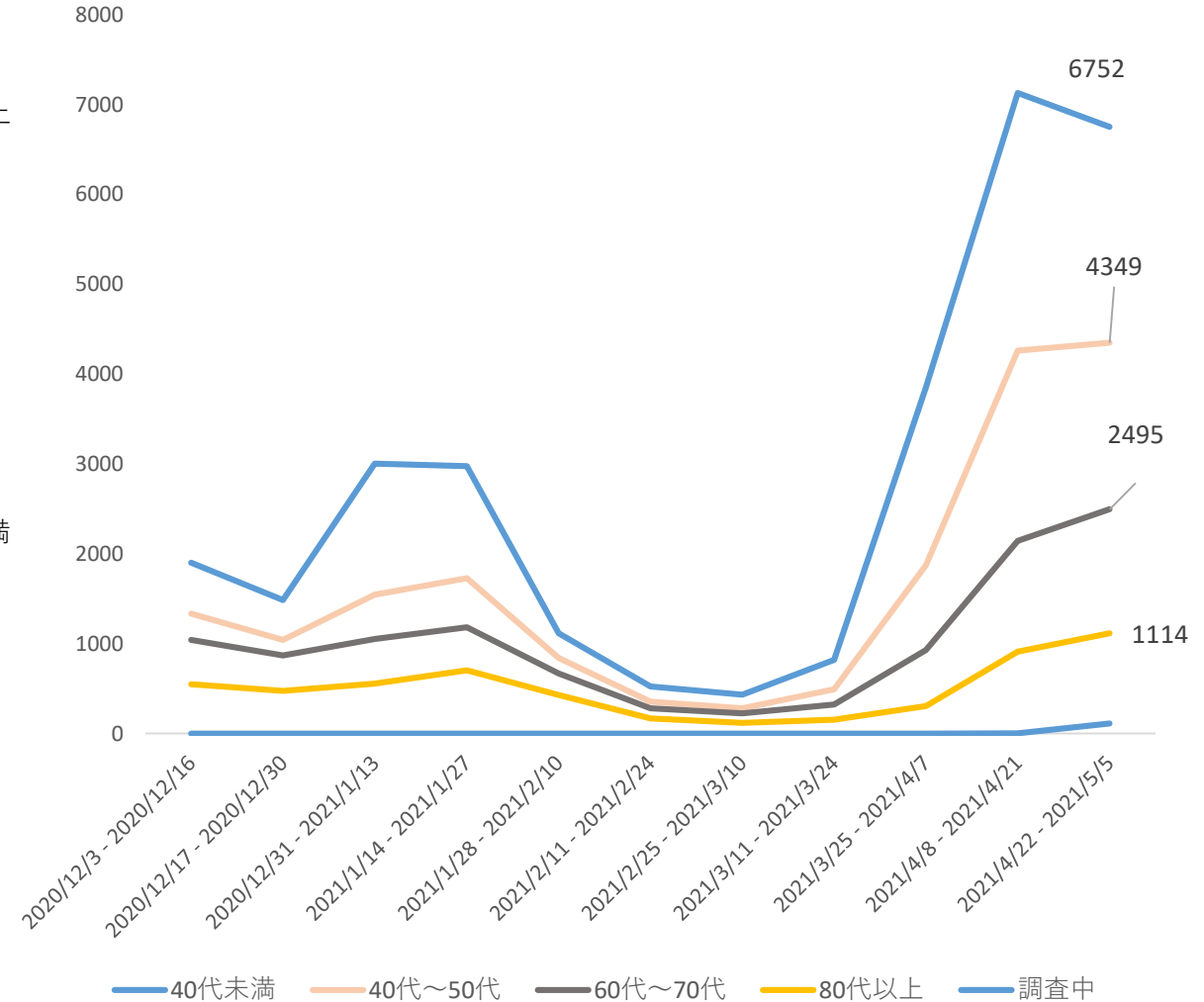
40代未満の割合は減少している一方、60代以上は増加し、陽性者に占める割合は3割弱となっている。

(12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

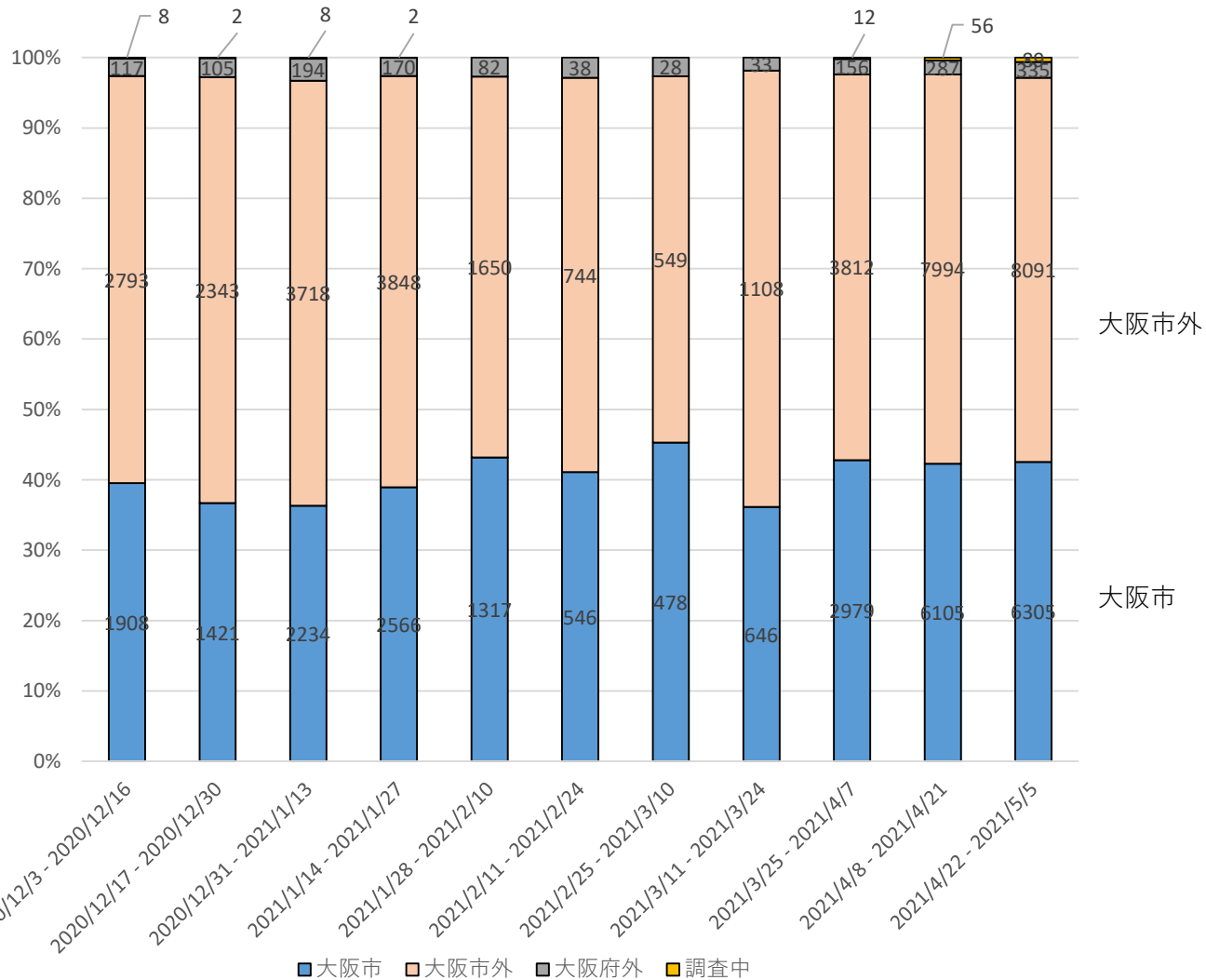


陽性者の居住地

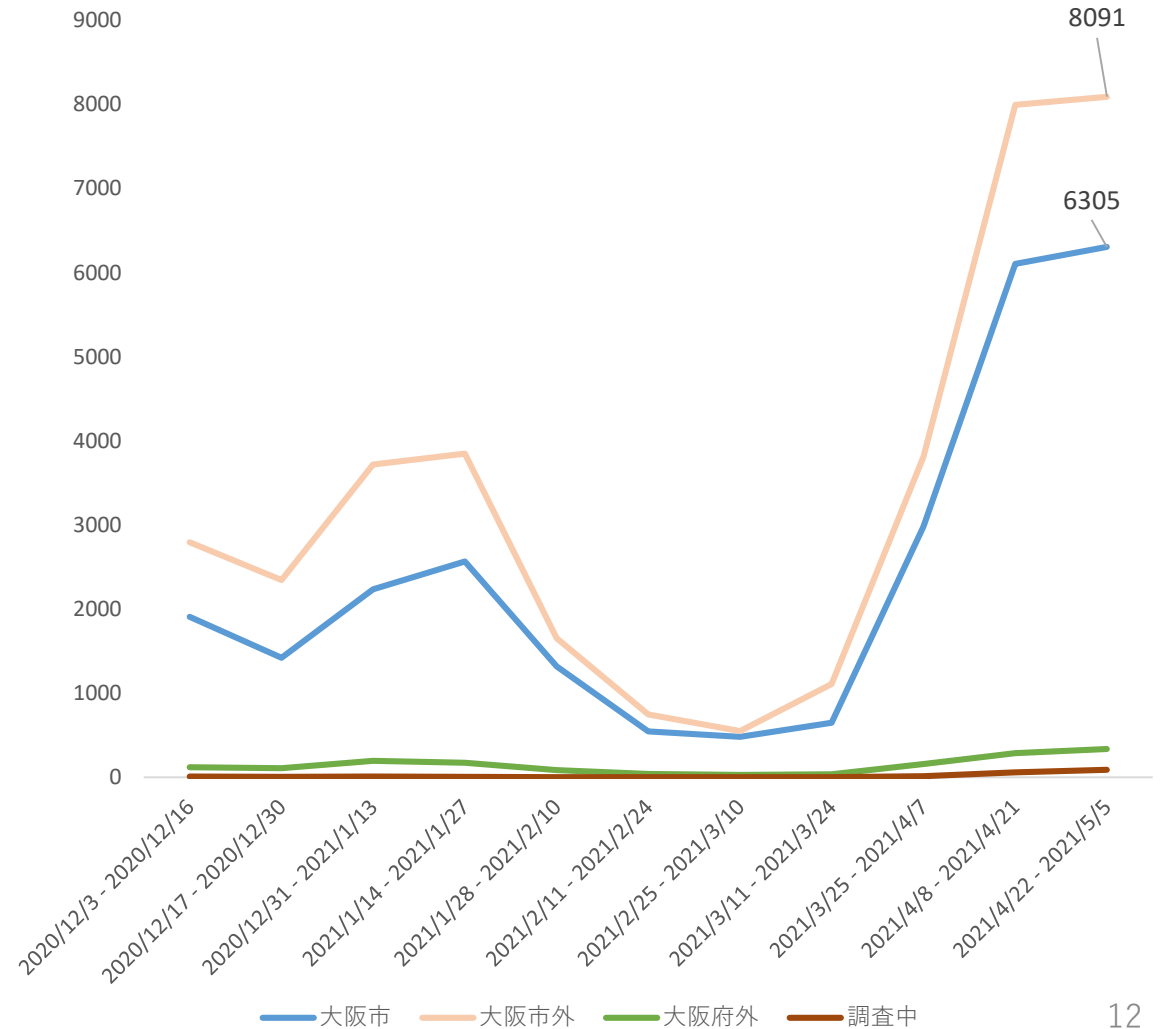
直近1か月で市内外居住者の割合は変わらず、市内居住者が4割強。

(12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



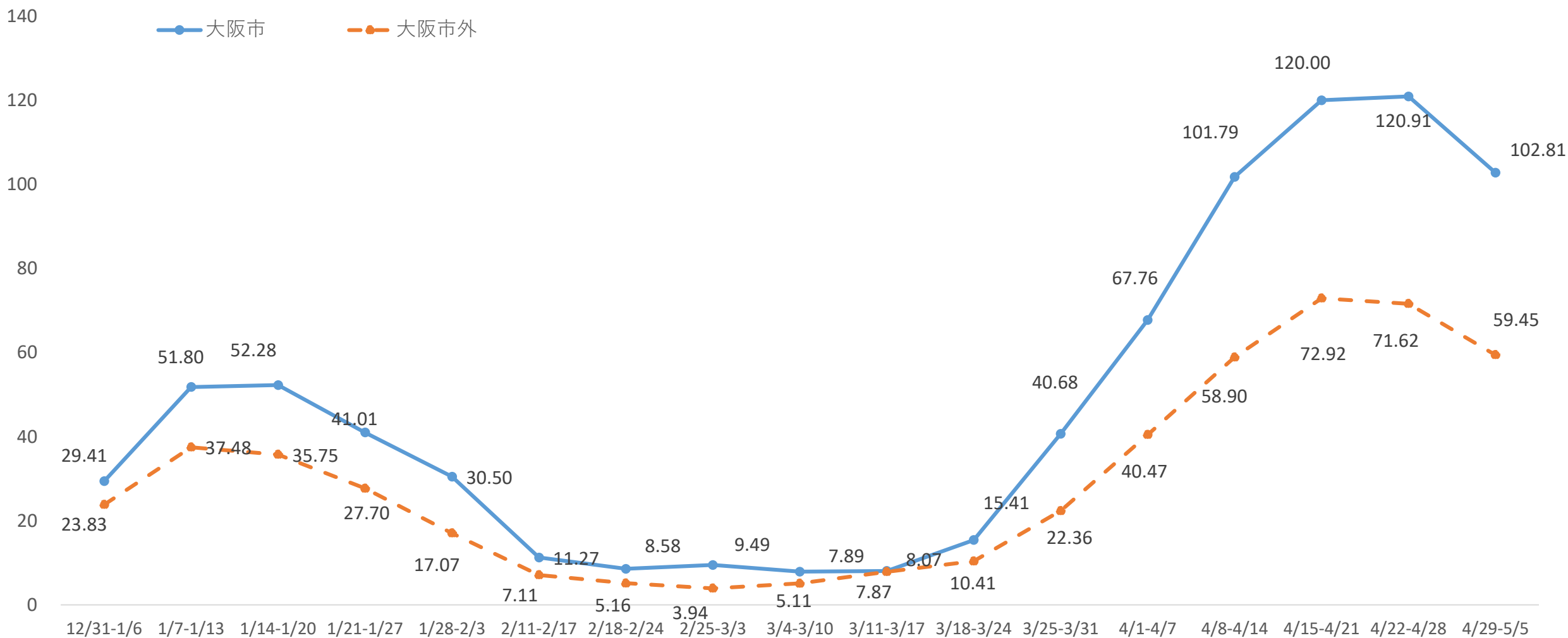
陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

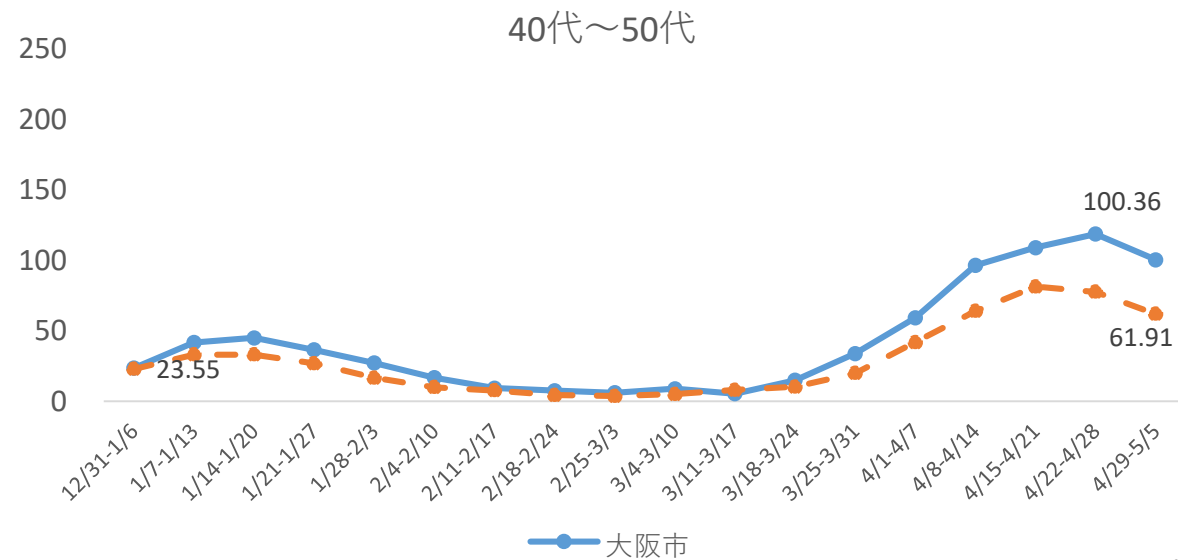
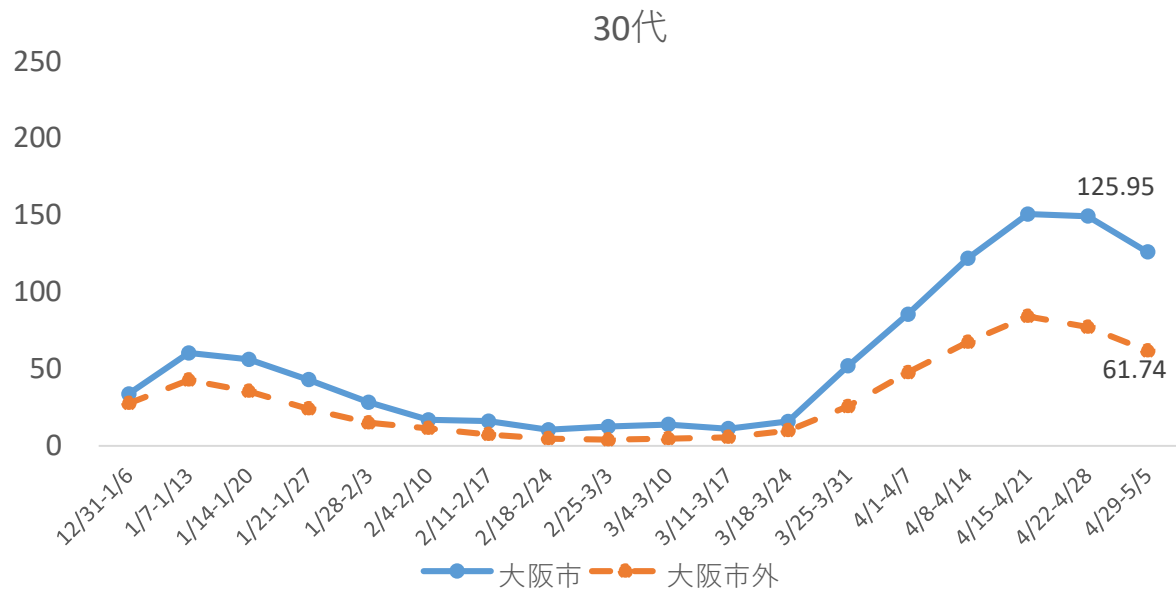
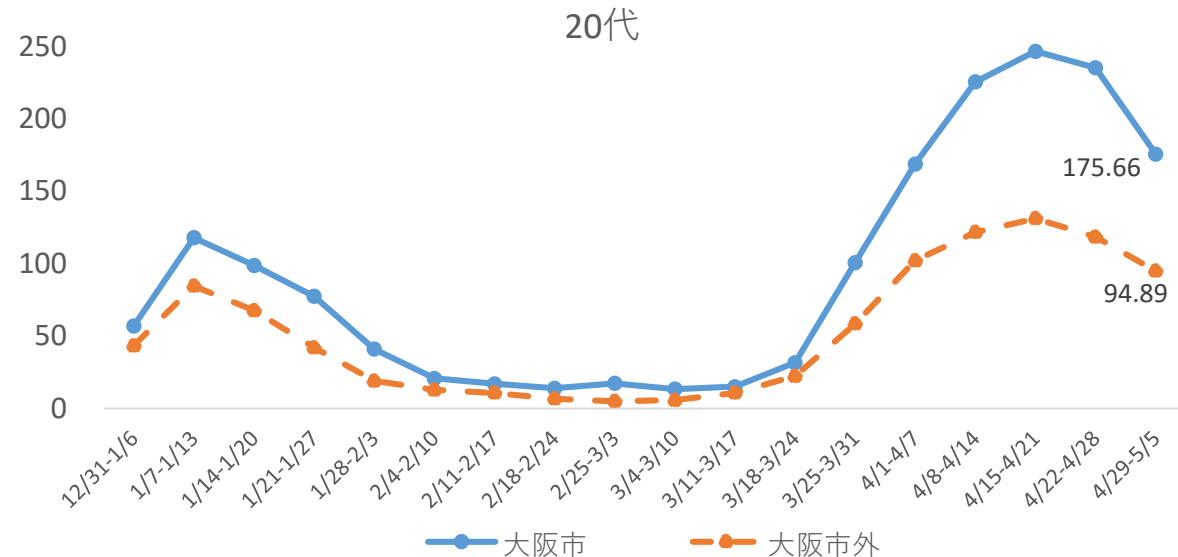
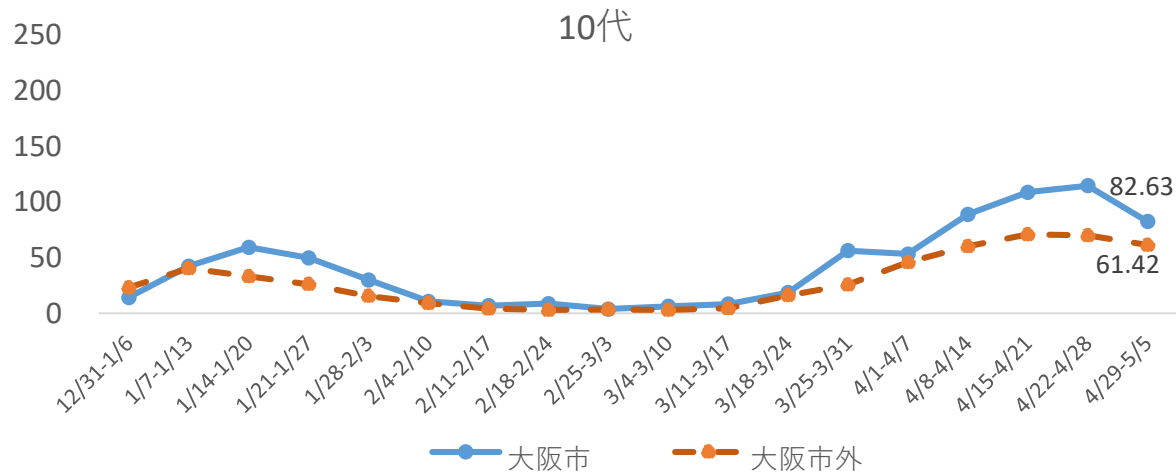
直近1週間で市内居住者ともに減少に転じている。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

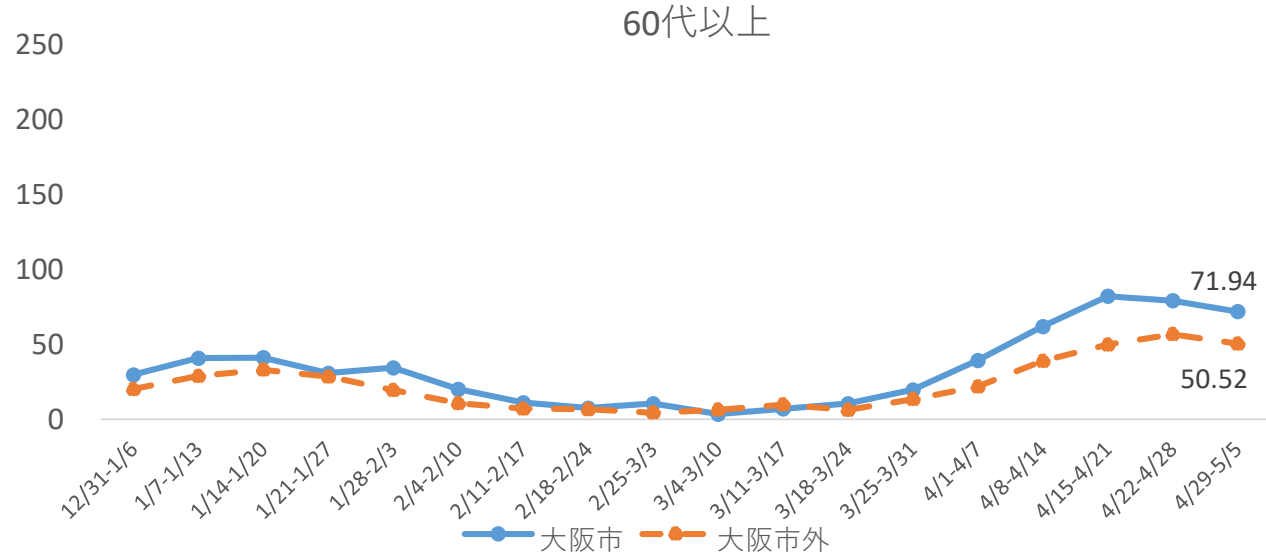
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は、全年代で減少。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

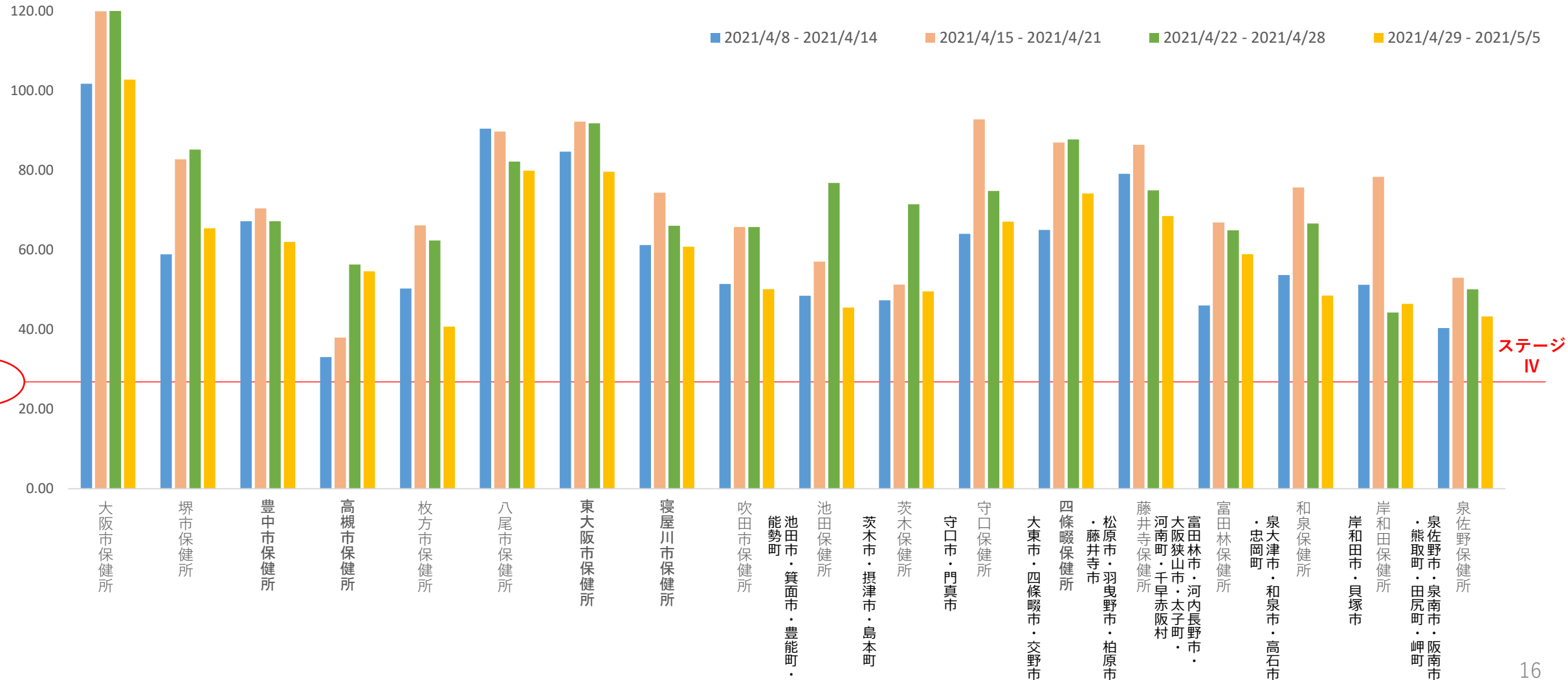
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は、全年代で減少。



保健所管内別陽性者比較（人口10万人あたり）

※居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

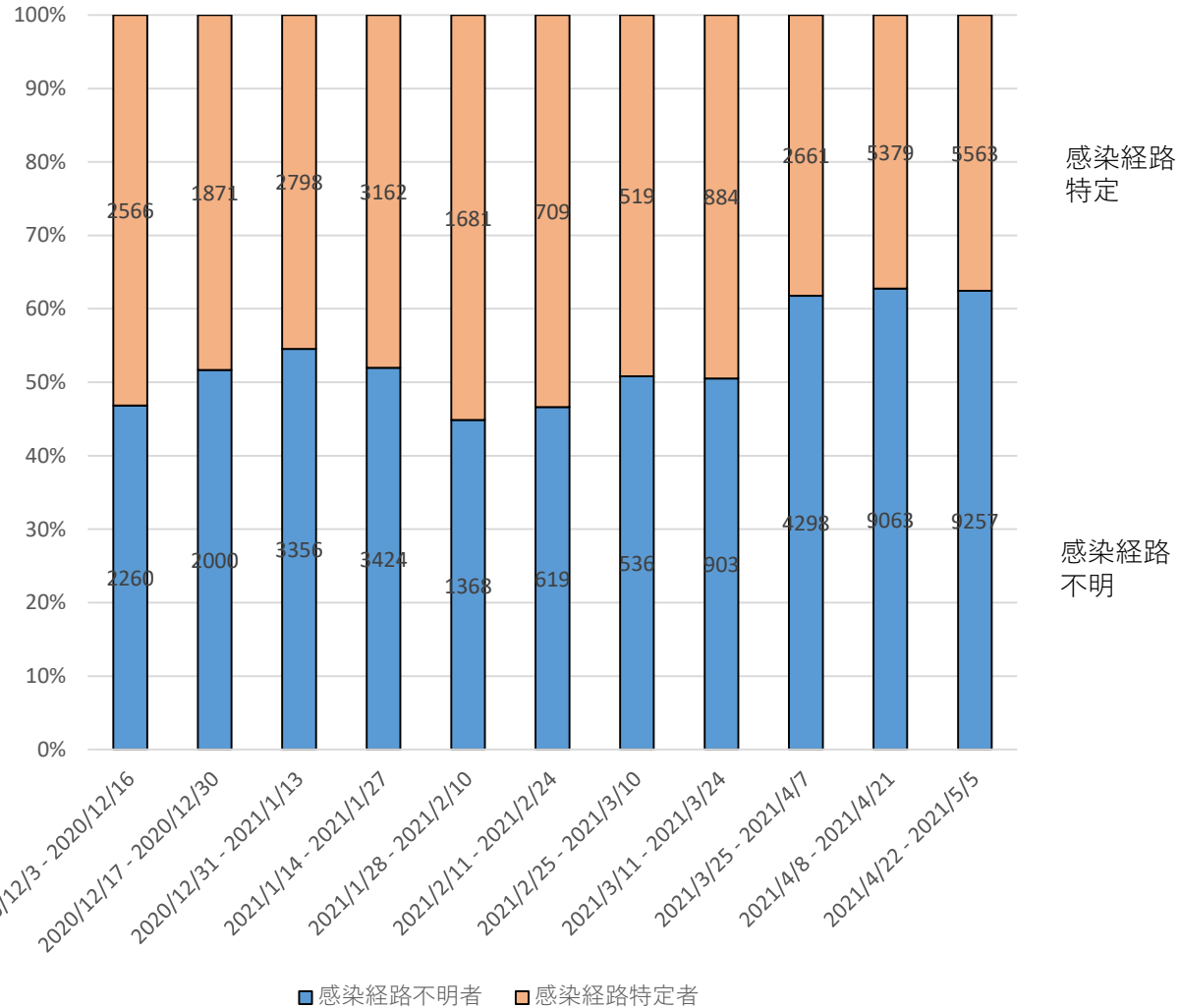
いずれの保健所管内でも新規陽性者数は減少傾向にあるが、ステージⅣの基準を大きく超過。



陽性者の感染経路の状況

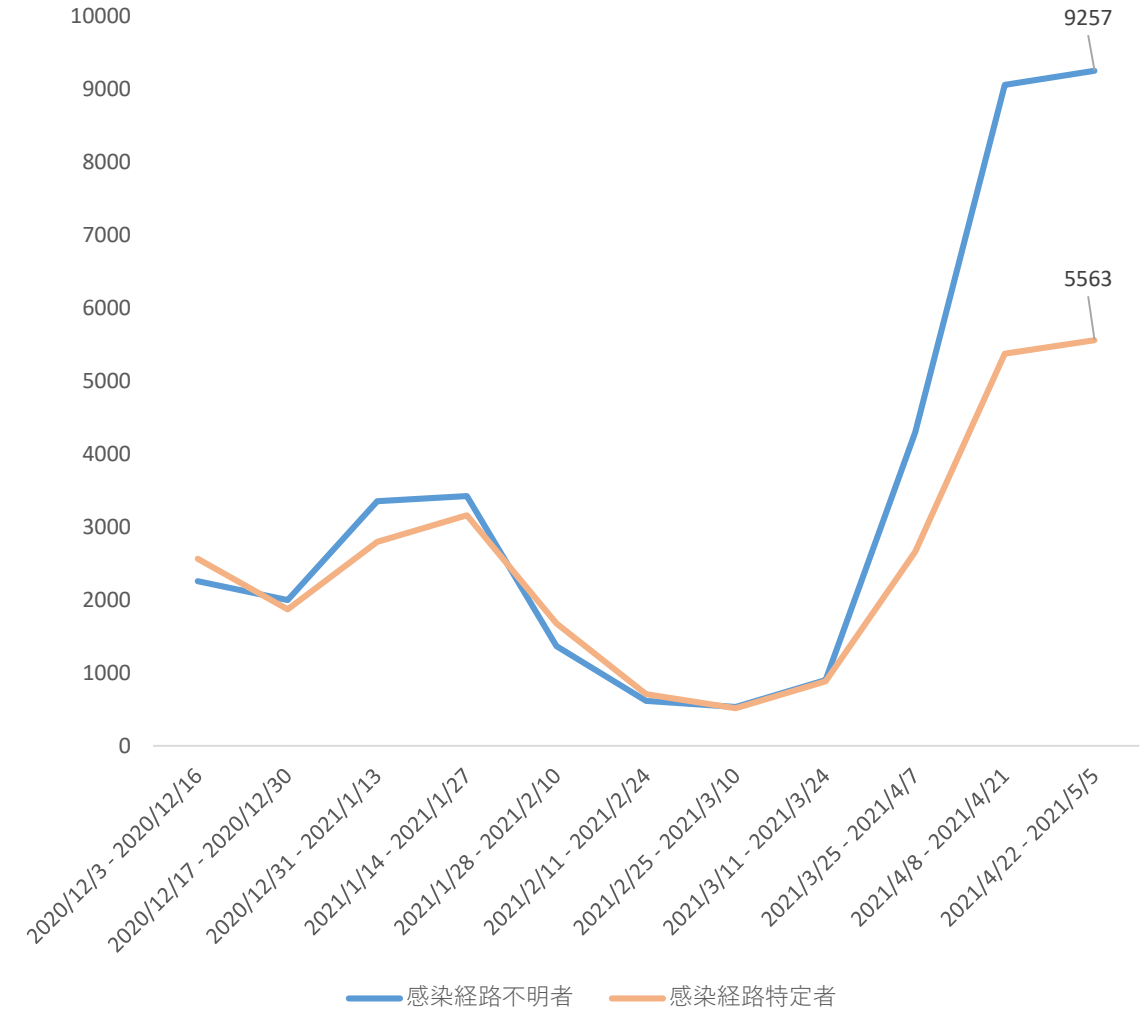
直近1か月で感染経路不明の割合は6割を超過したまま。

感染経路の状況（割合）



(12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況)

感染経路の状況（実数）



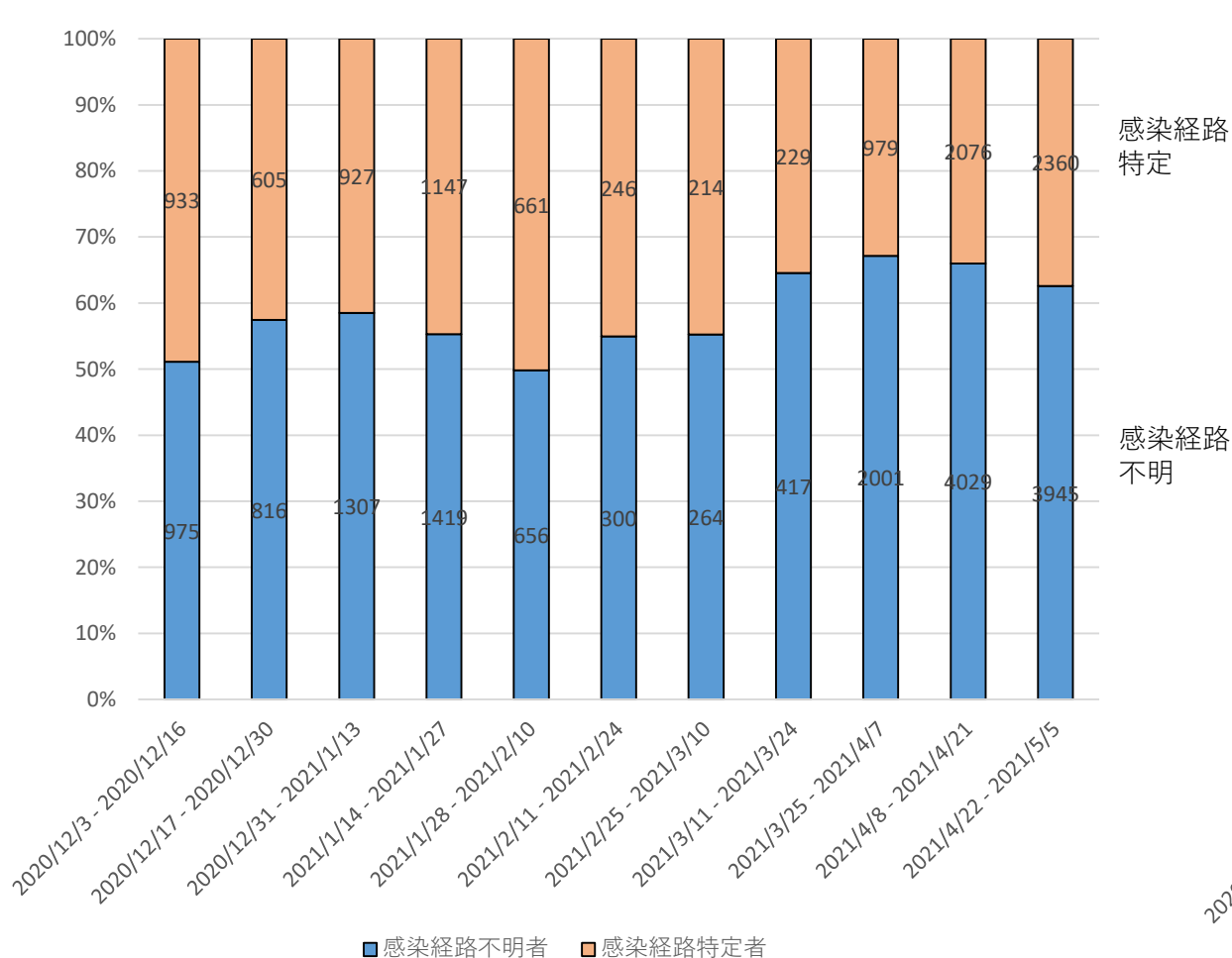
陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

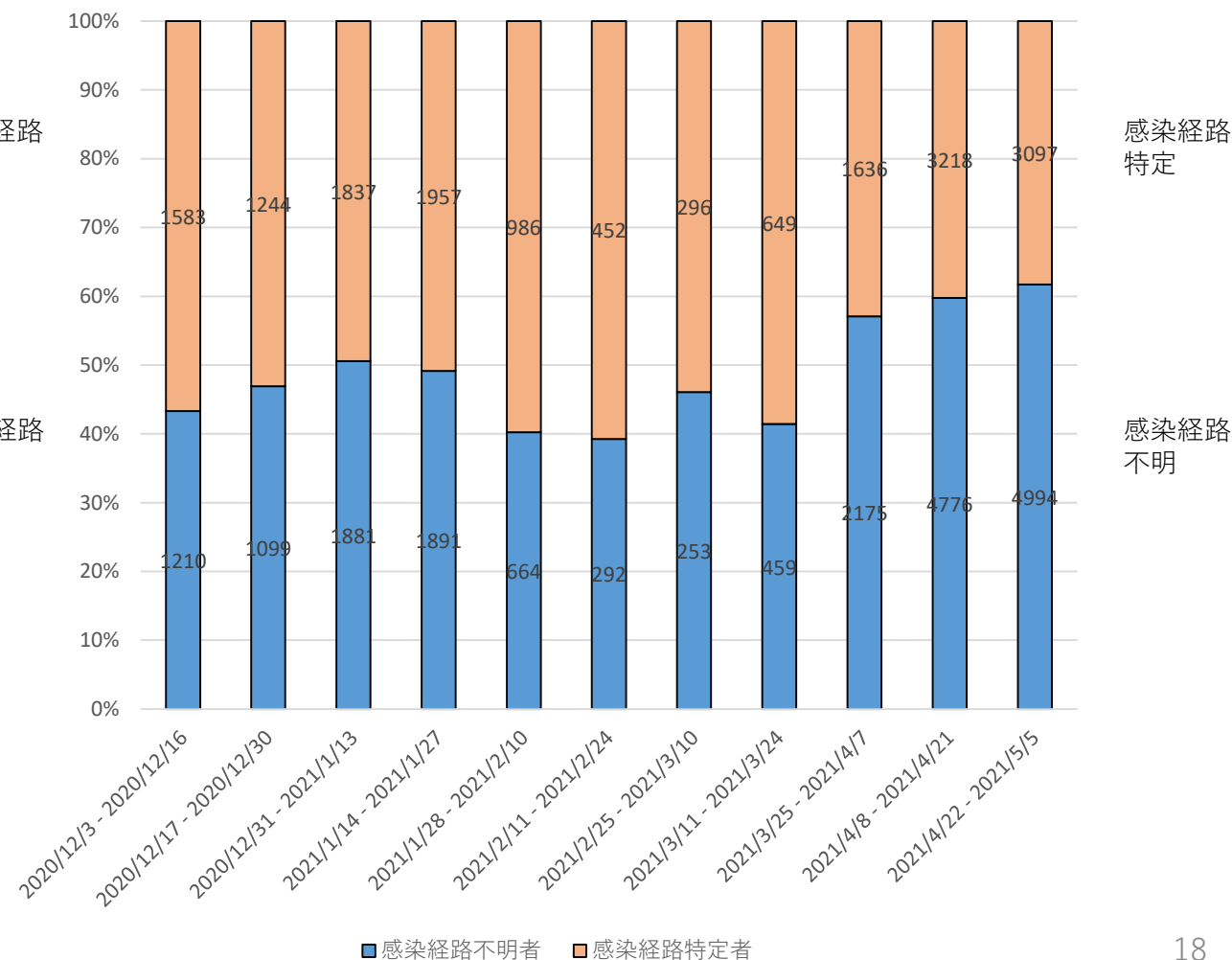
直近2週間の市内居住者の感染経路不明割合は減少しているが、6割強と依然高い。
 市外居住者は増加し、6割を超過。

（12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況）

感染経路の状況（大阪市）



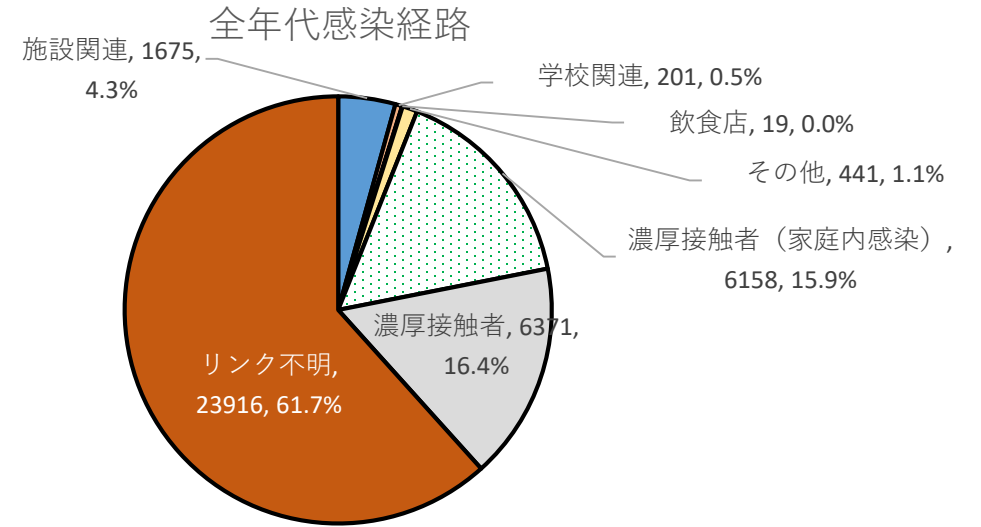
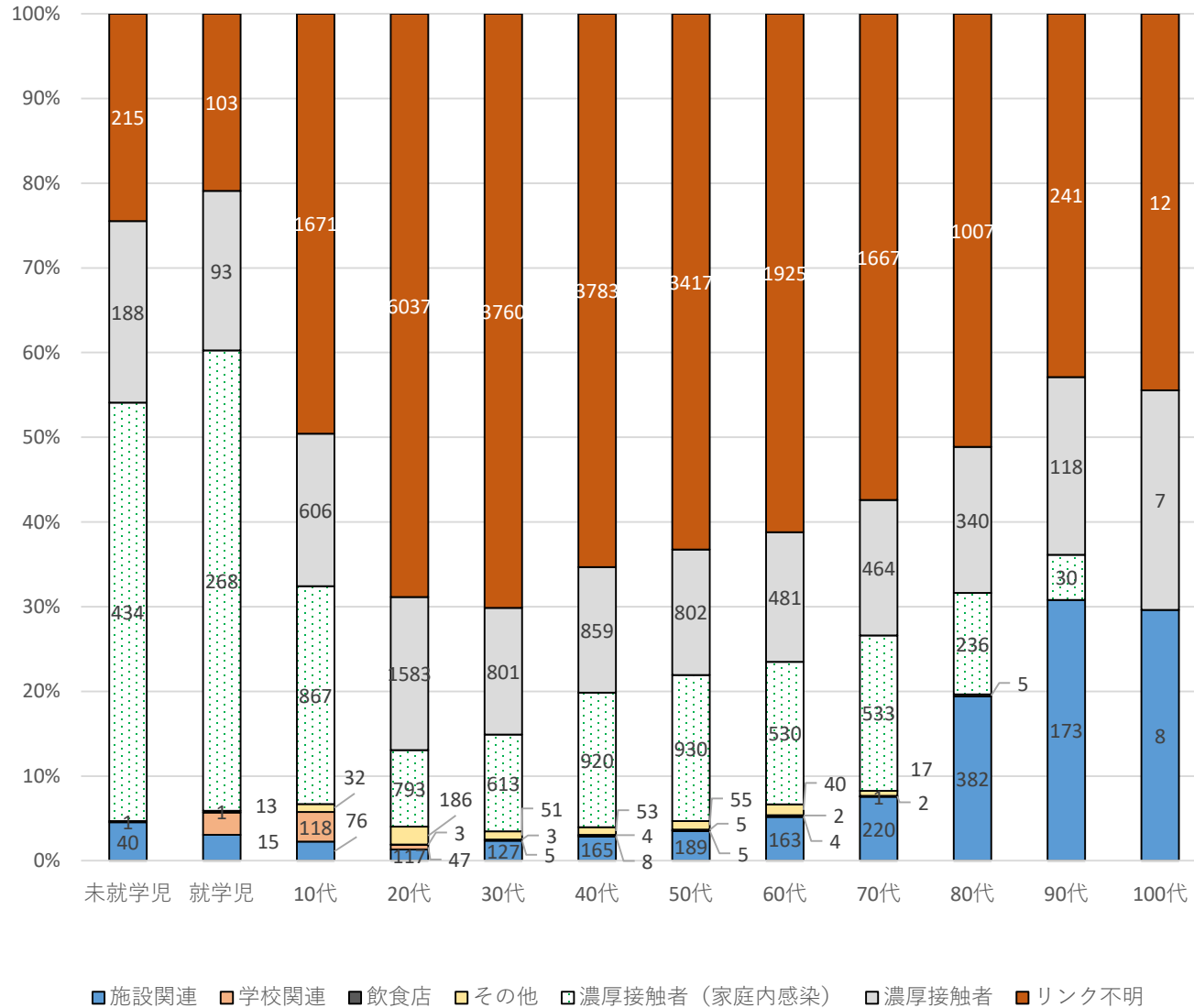
感染経路の状況（大阪市内外）



感染経路（第四波）

（3月1日以降5月5日までに判明した38,781事例の状況）

年代別感染経路



<全年代感染経路>

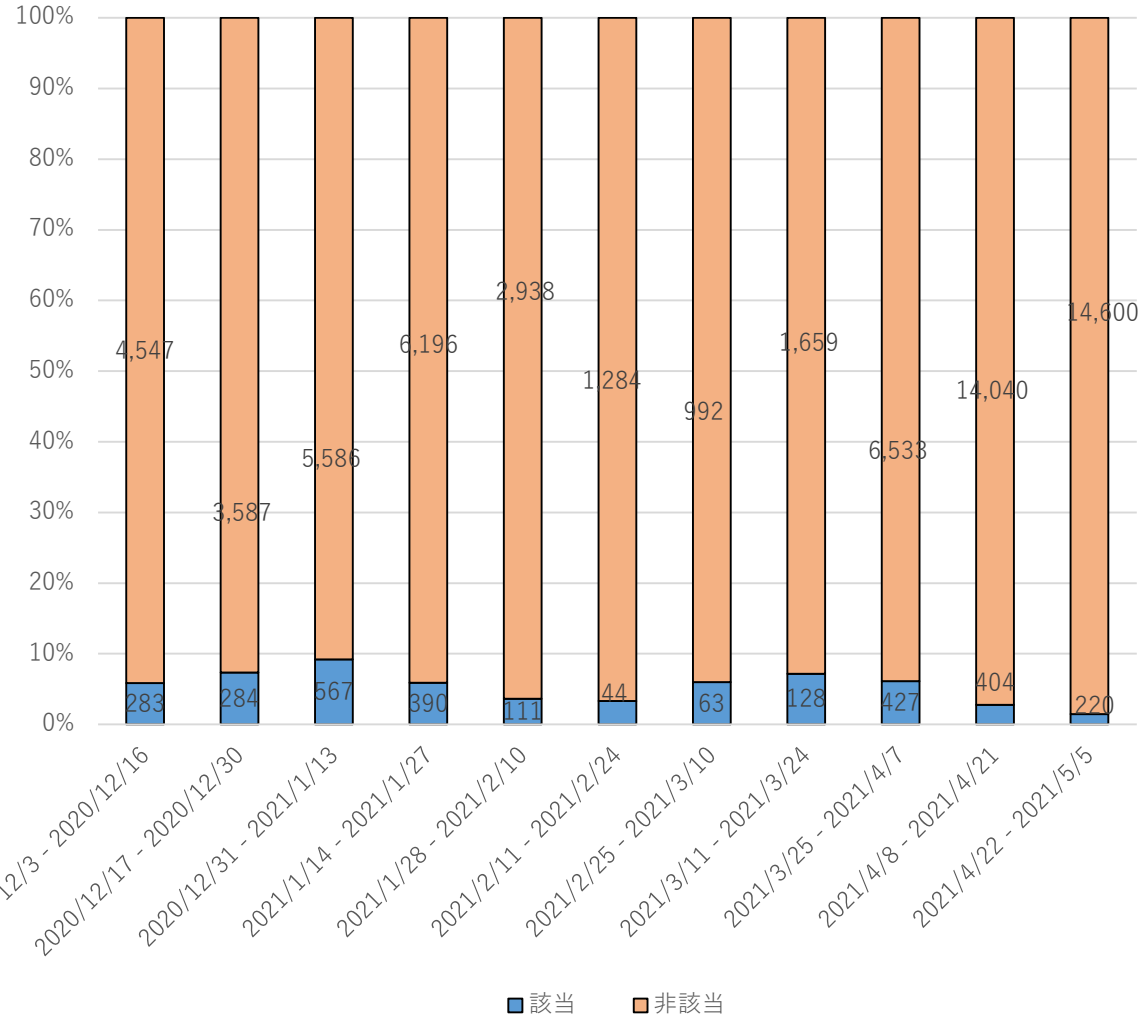
時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
(参考) 第四波 (3/1~3/31)	9.2%	0.8%	0.4%	1.9%	18.3%	12.8%	56.5%
第四波 (3/1~5/5)	4.3%	0.5%	0.0%	1.1%	15.9%	16.4%	61.7%

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

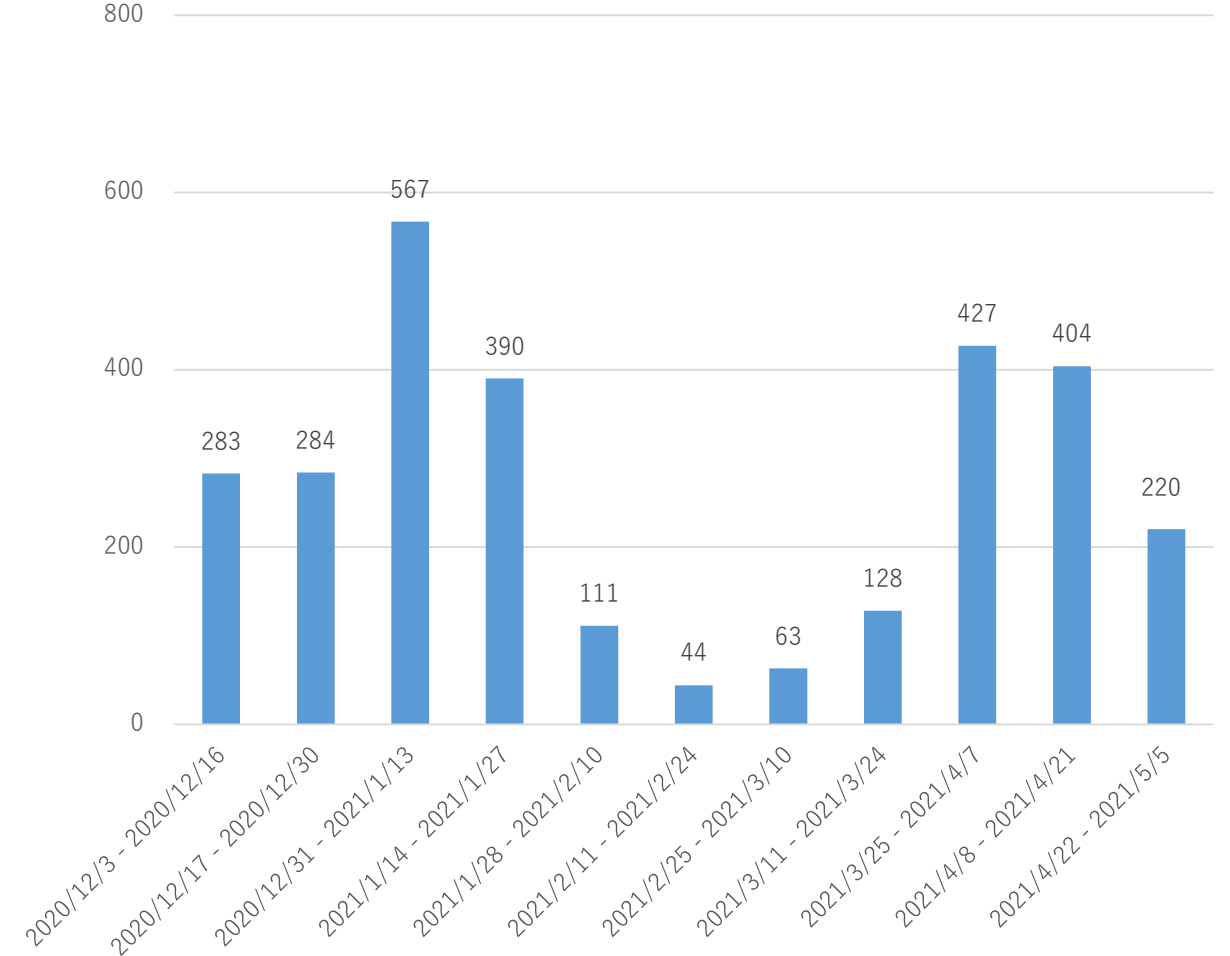
夜の街の関係者及び滞在者の人数は、直近2週間で減少。

（12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

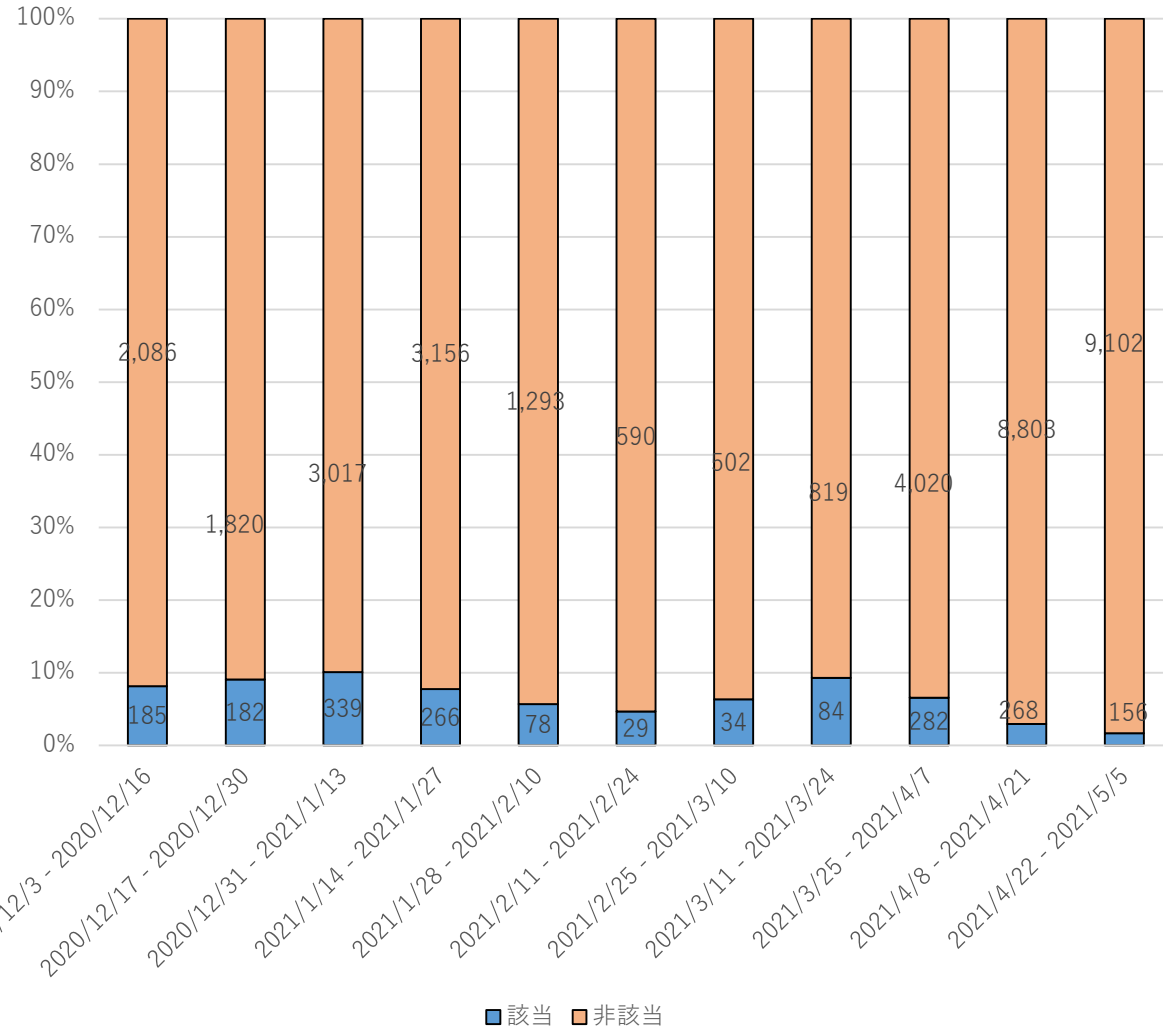


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

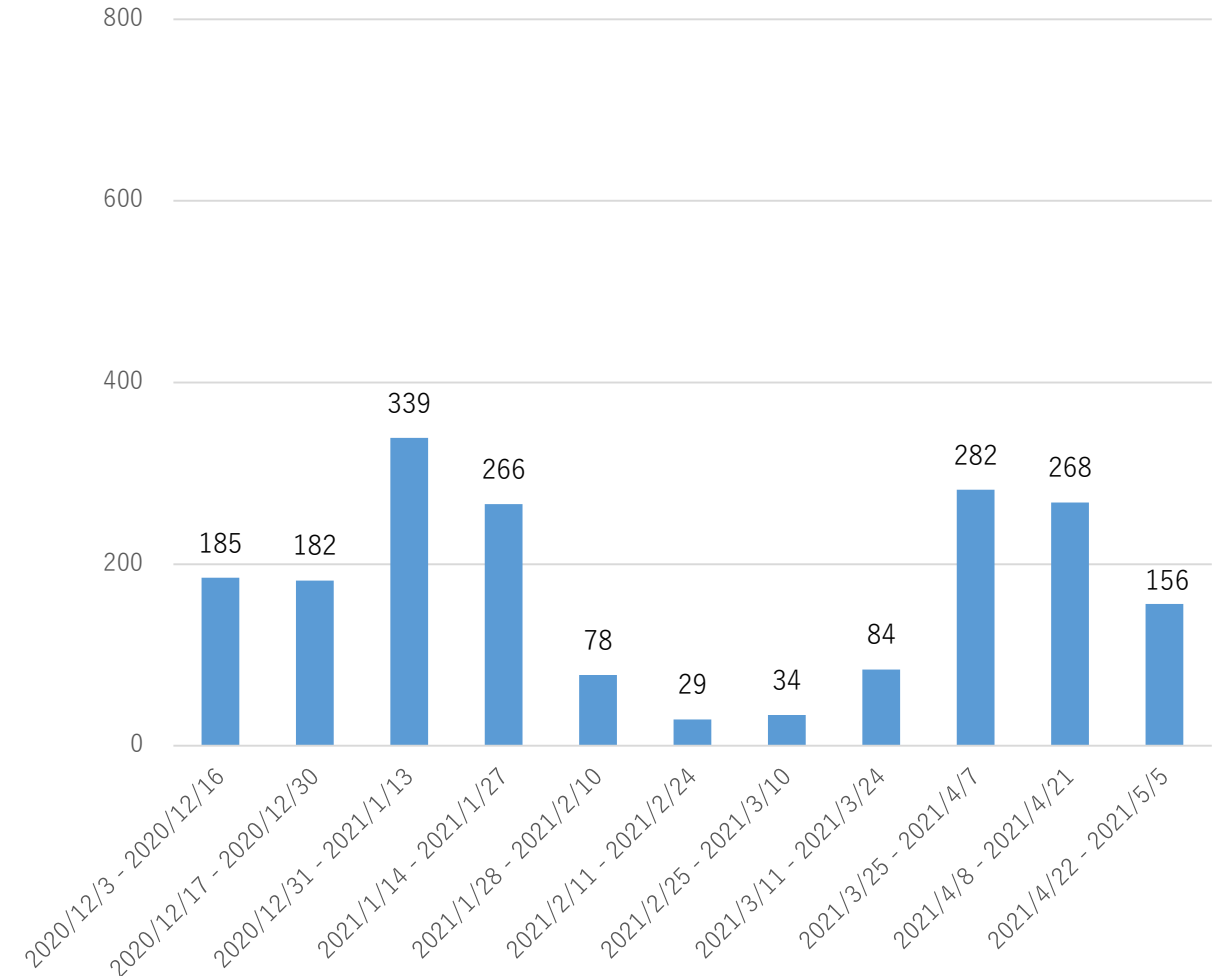
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（12月3日以降5月5日までに判明した感染経路不明者37,111事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）

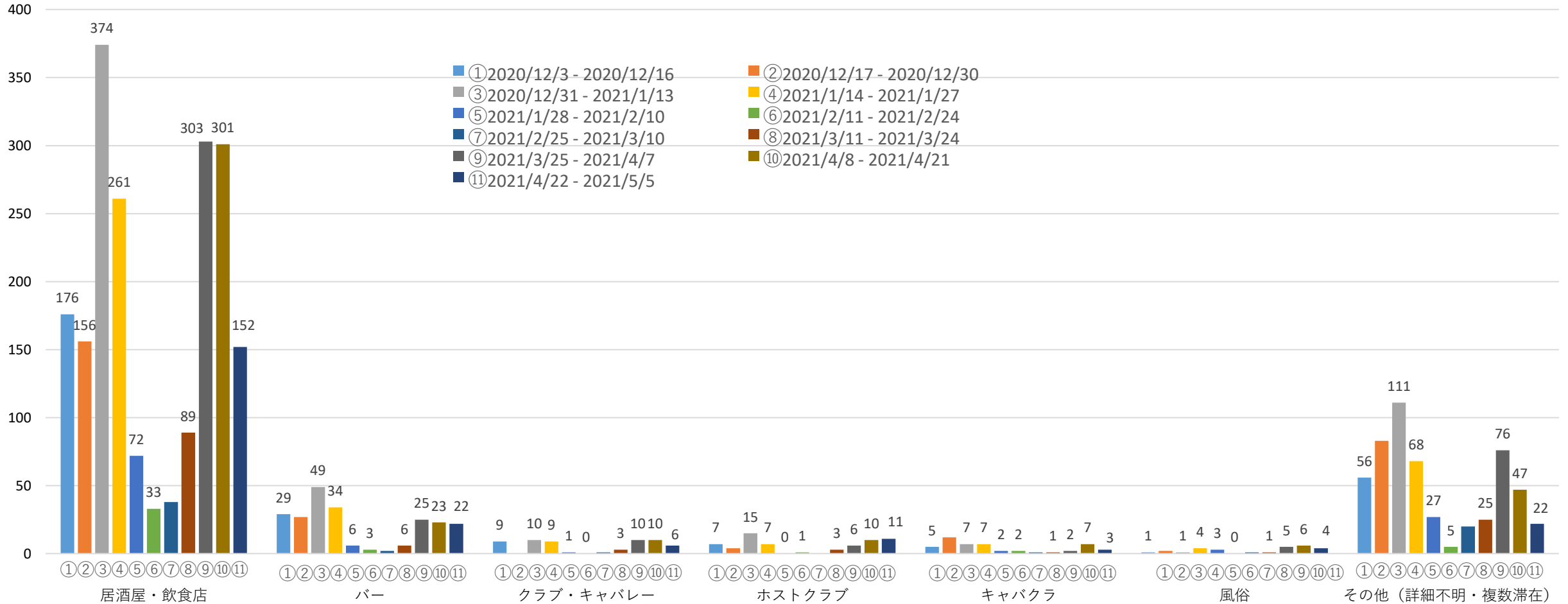


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在分類別の状況

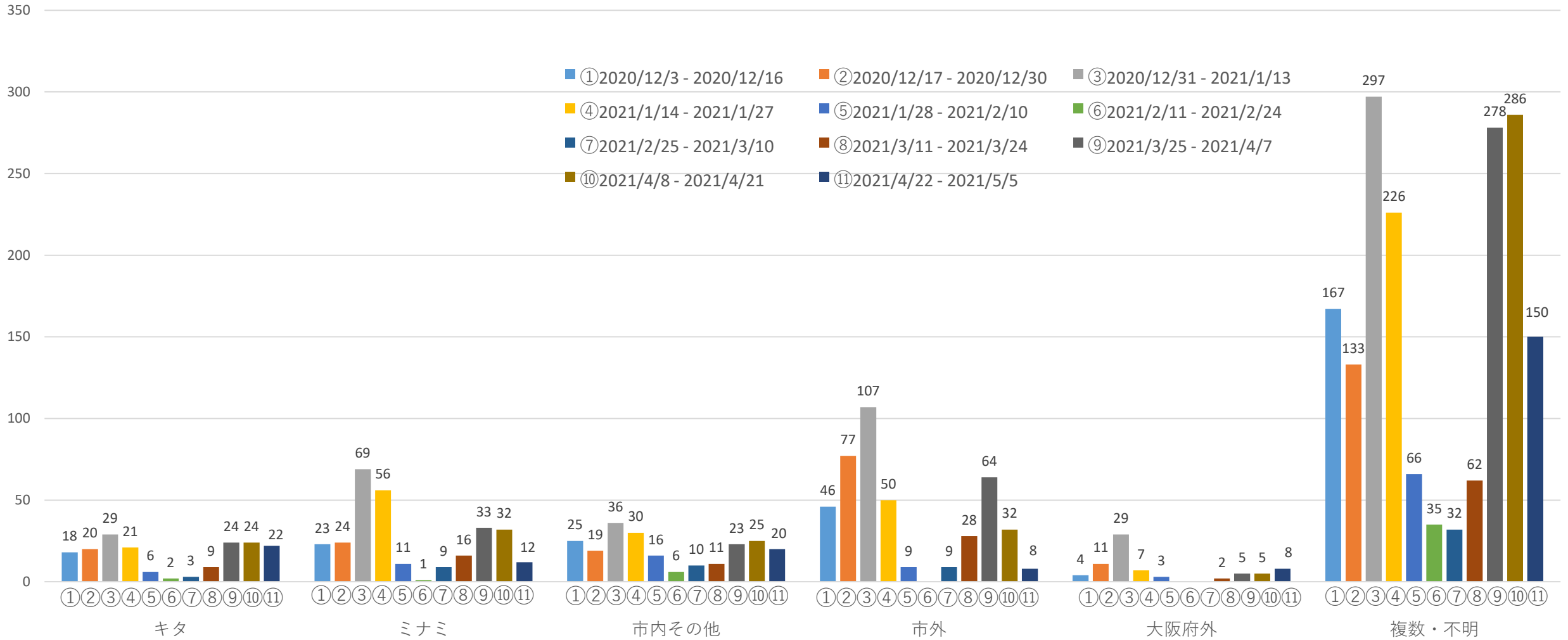
居酒屋・飲食店は、直近2週間で減少しているが、第三波緊急事態措置期間中ほどには減少していない。

(12月3日以降5月5日までに判明した2,921事例の状況)



夜の街の滞在エリア別の状況

(12月3日以降5月5日までに判明した2,921事例の状況)

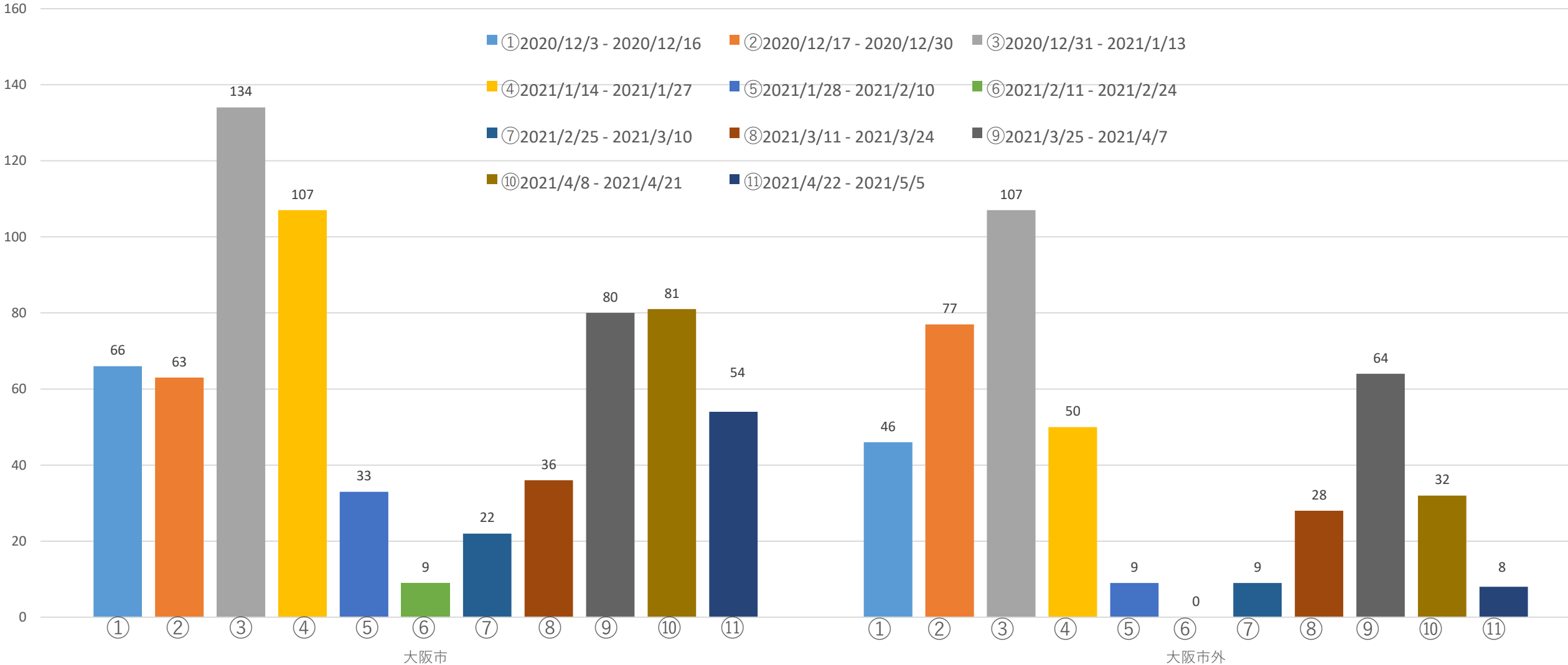


※滞在エリアの分類は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在エリア別の状況

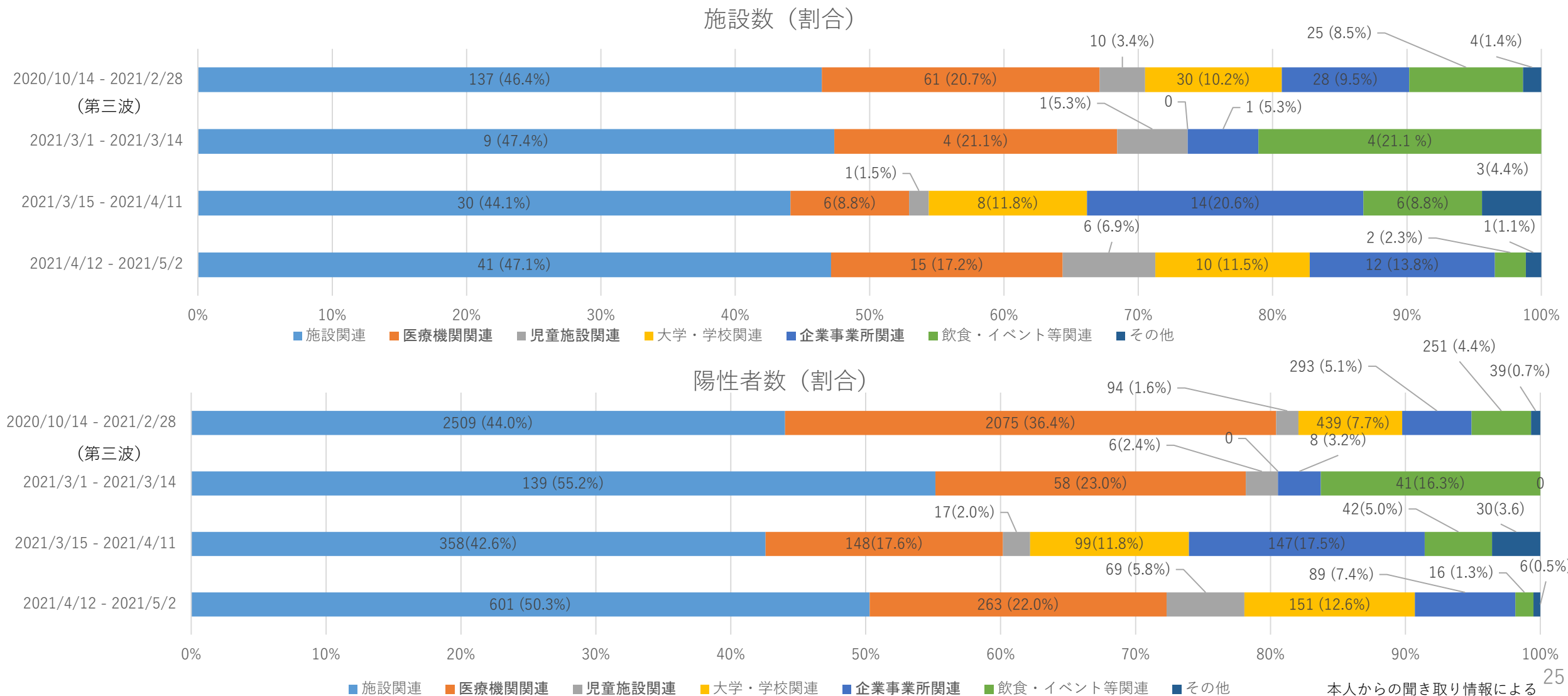
夜の街の滞在エリアとして、市内市外ともに減少。

(12月3日以降5月5日までに判明した2,921事例の状況)



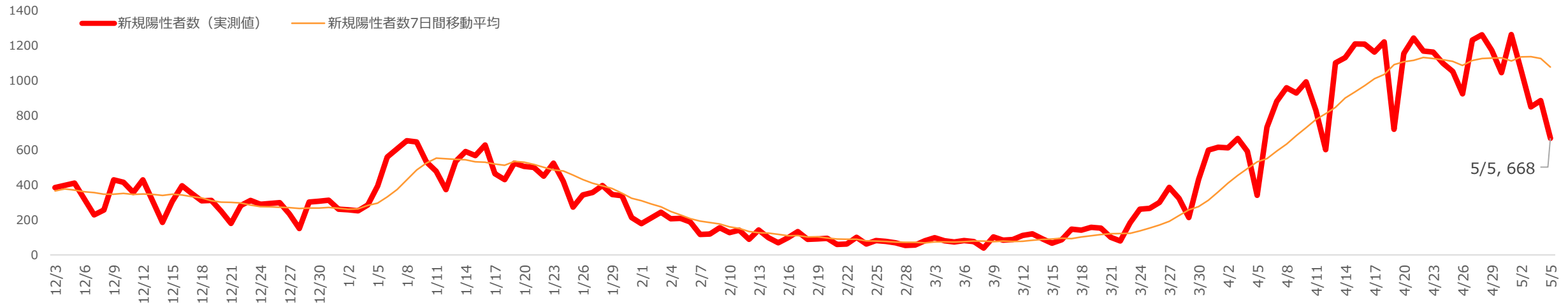
第三波から第四波にかけてのクラスター状況（5月2日時点）

4月12日以降の週では、医療機関関連のクラスター数の割合が増加。大学・学校関連は大きな減少傾向は見られず、企業事業所関連にも大きな減少傾向は見られない。飲食・イベント等関連は急減。

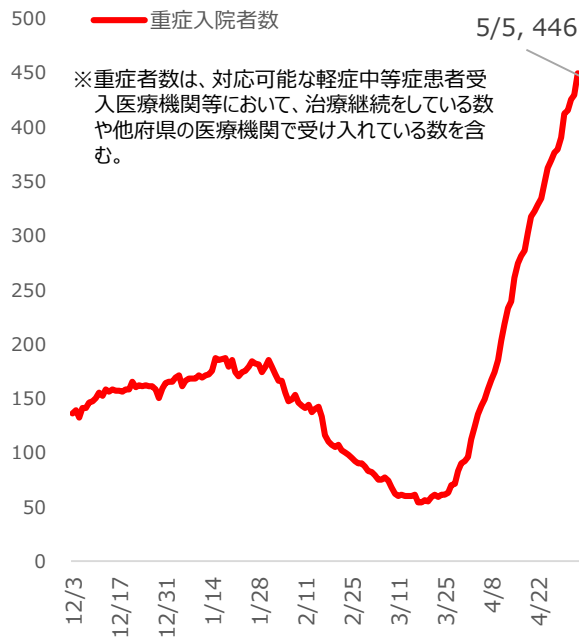


新規陽性者数と入院・療養者数（5月5日時点）

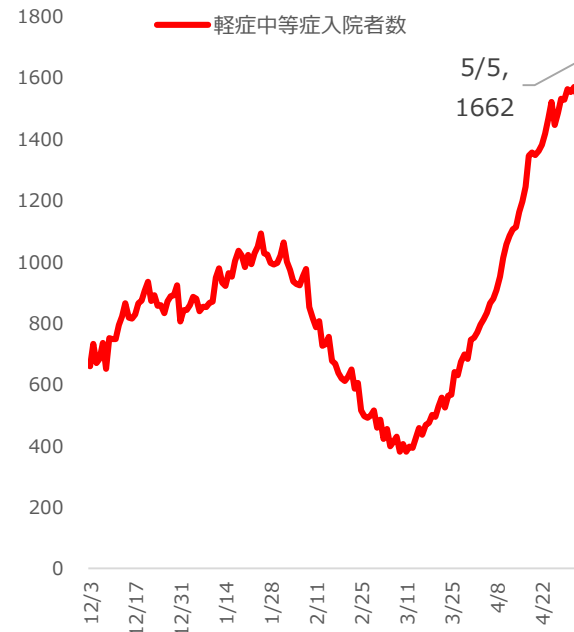
資料 1 - 2



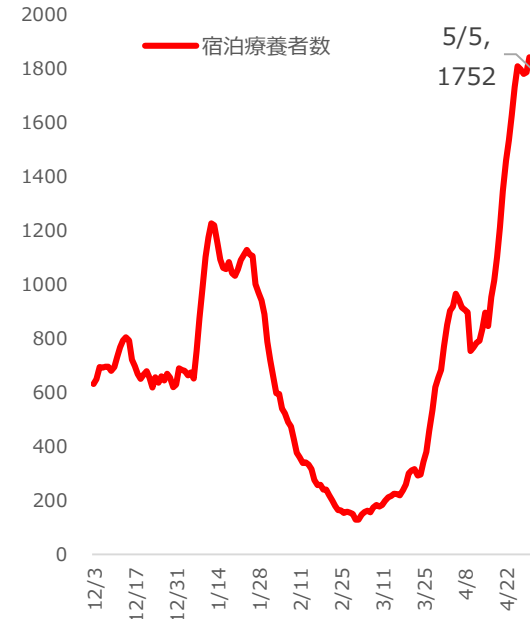
入院患者（重症）



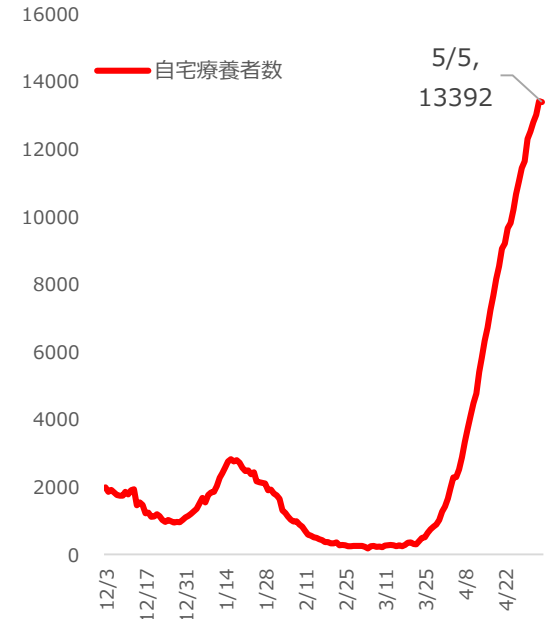
入院患者（軽症中等症）



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況(5月5日時点)

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	75床	700床	800室
	フェーズ2	110床	1,000床	1,600室
	フェーズ3	150床	1,200床	2,400室
	フェーズ4	180床	1,500床	—
	フェーズ4-2	221床	1,800床	—
確保数等		確保数361床※ ※病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。	確保数2,105床	3,475室
入院・療養者数 (別途、自宅療養 13,392人)		372人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている73人及び他府県の医療機関で受け入れている1人 (計 重症者数 446人)	1,735人※ ※左記73人を含む	1,752人
使用率		103.0% (入院者数372/確保数等361) 大阪モデルに基づく使用率は、166.1% (入院者数372/確保病床数224)	82.4% (1,735/2,105)	50.4% (1,752/3,475)
運用率		103.0% ※ (入院者数372/運用数361) うち、大阪コロナ重症センター(27/30) (参考) 123.5% 運用病床に占める重症者数割合 (重症者数446/運用数361)	82.4% (1,735/2,105)	50.4% (1,752/3,475)

※ 運用率における入院者数には、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を除き、かつ、医療機関が重症病床として運用計画を大阪府に提出していない病床に入院している重症者数を含む。

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

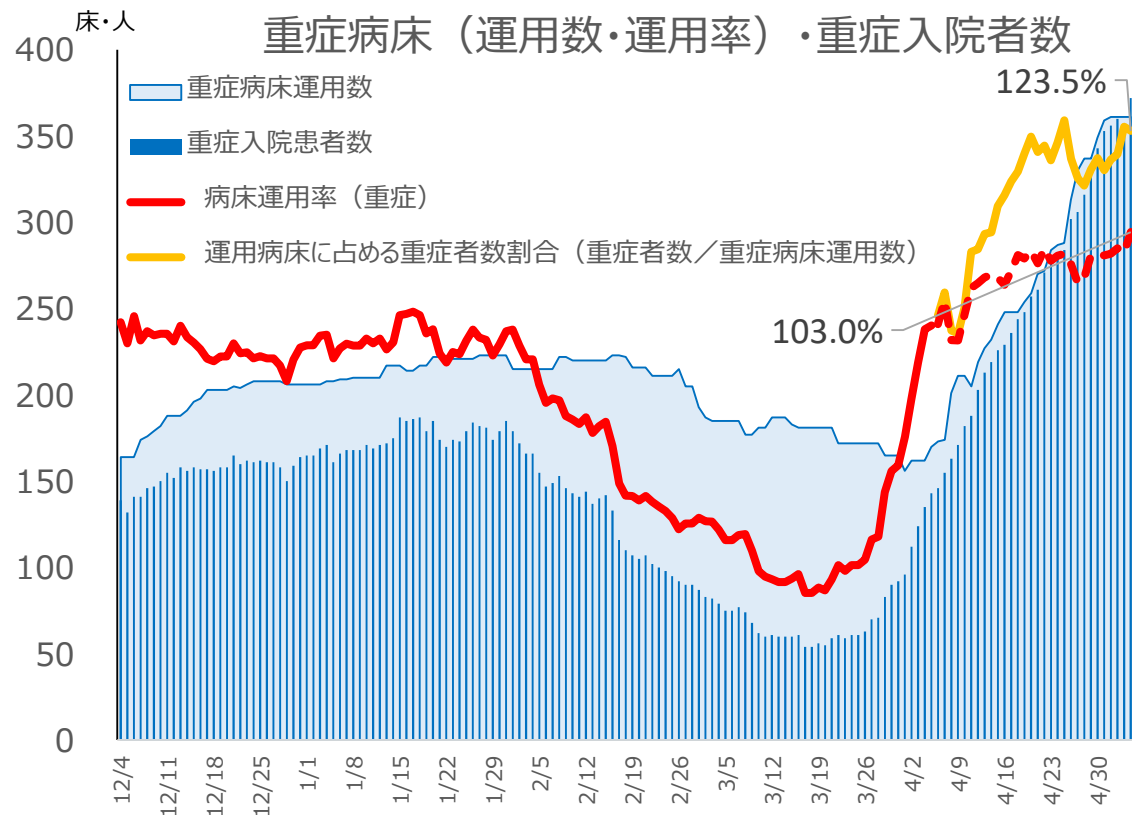
● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

5月5日現在 **病床運用率103.0%**

運用病床数 **361床**※1 入院患者数 **372人**※2

※1 病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。

※2 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数73人
他府県の医療機関にて受け入れしている重症者数1人(計重症者数446人)
また、医療機関が重症病床として運用計画を大阪府に提出していない病床に入院している重症者数を含む。



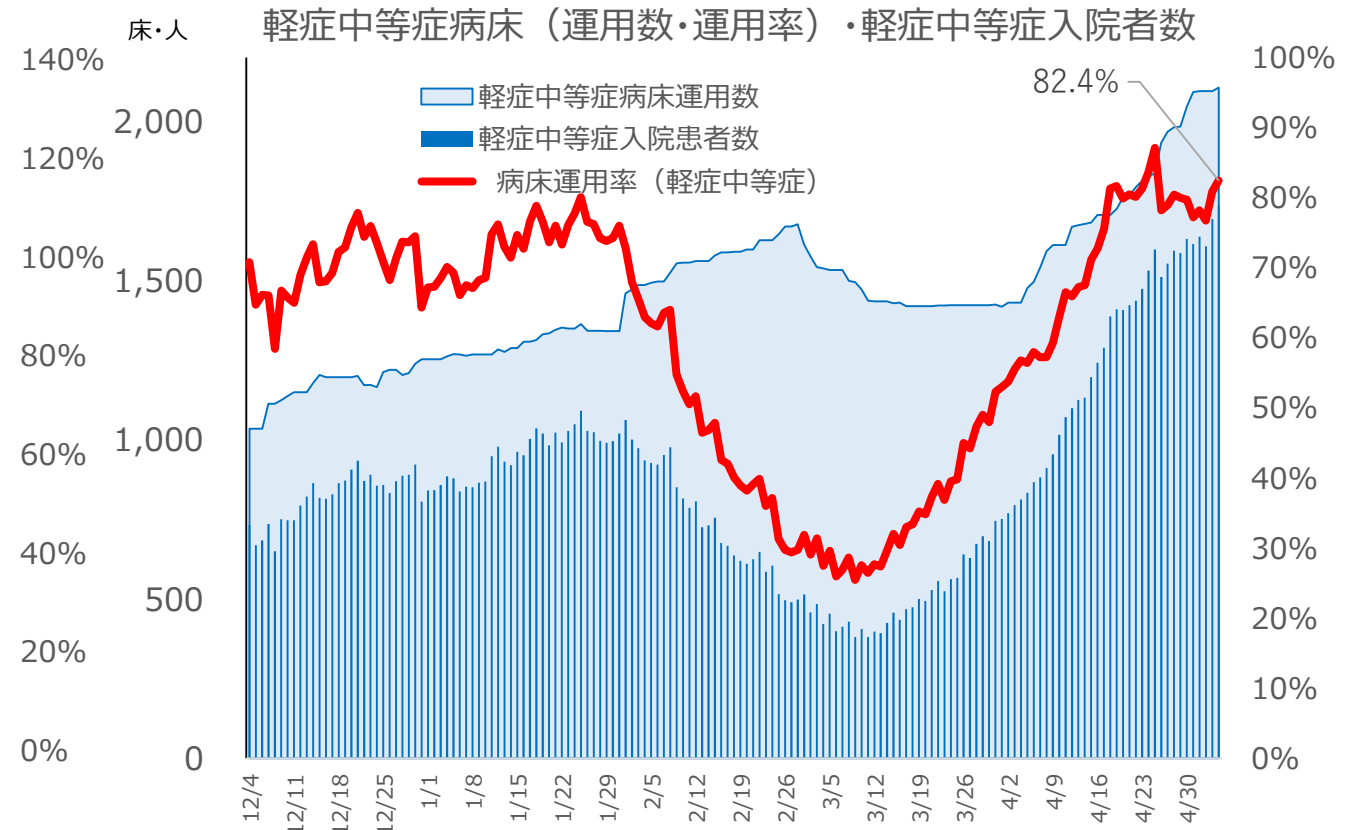
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

5月5日現在 **病床運用率82.4%**

運用病床数 **2,105床** 入院患者数 **1,735人**※

(※左記73人を含む)

- **小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率 約86%**
- **重症者を治療継続をすることで、軽症中等症患者受入可能な病床数は実際より少なく、極めてひっ迫**



新規陽性者数と重症者数の推移

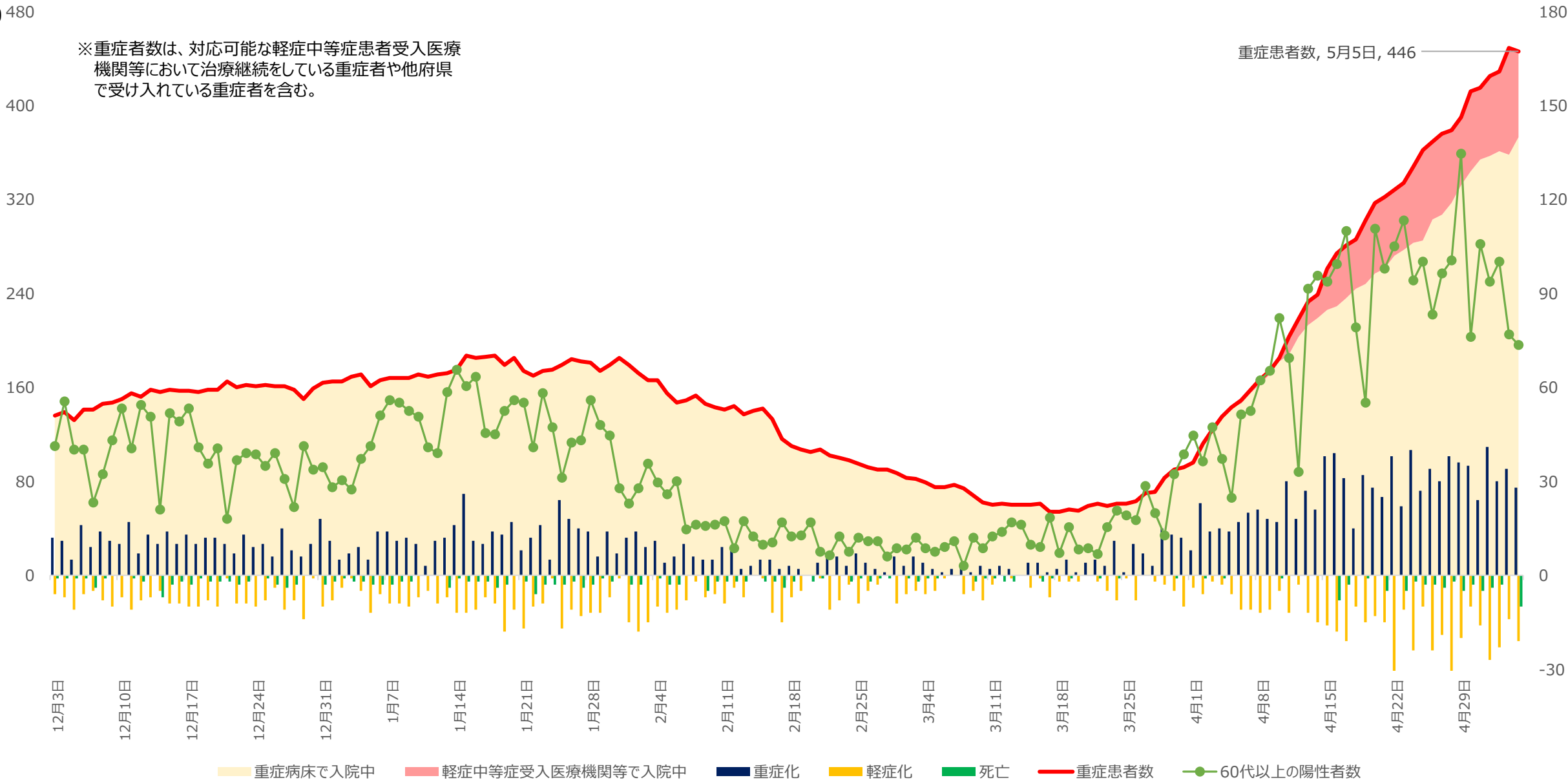
60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）

60代以上の新規陽性者数と重症患者数

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。

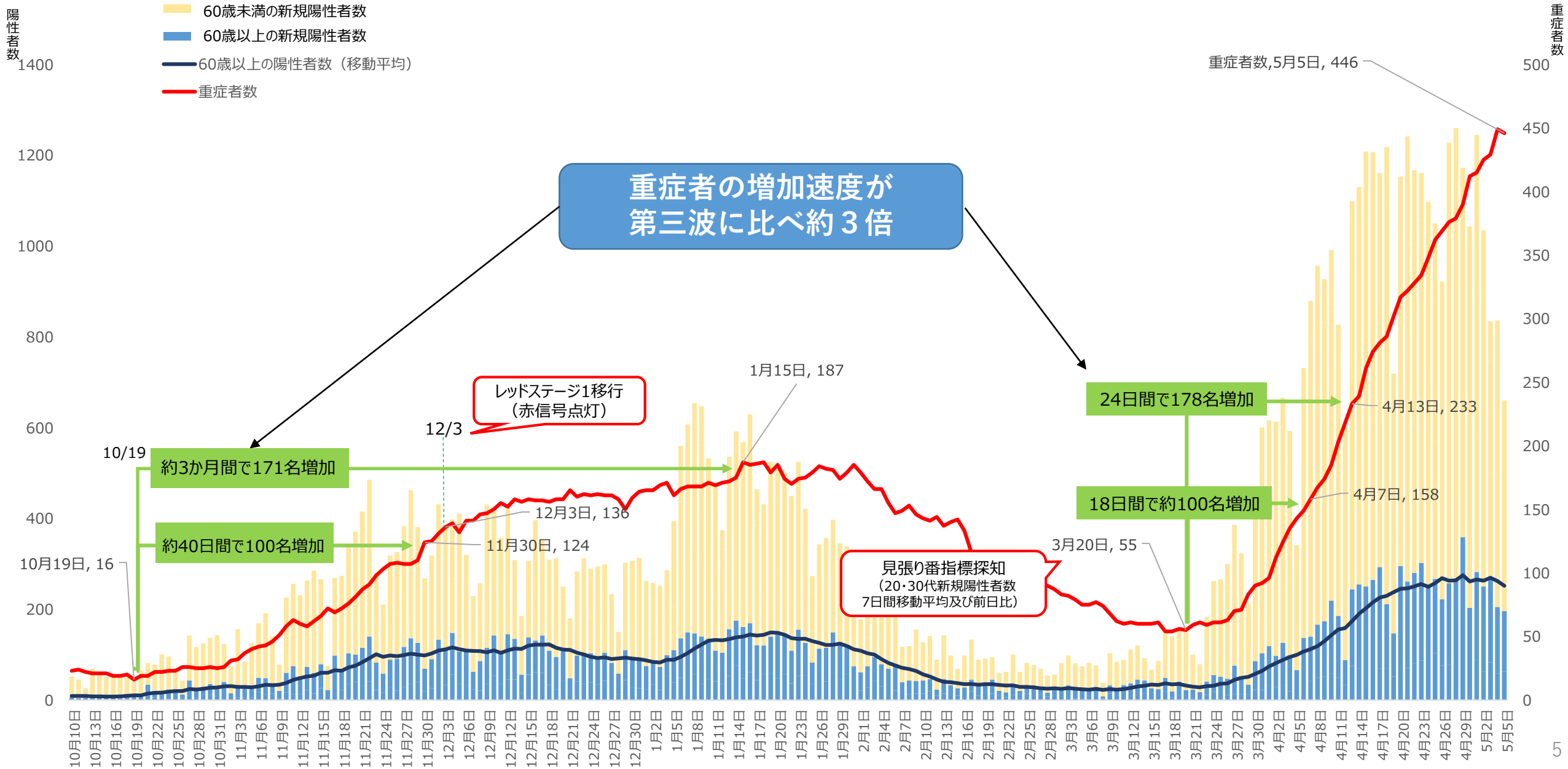
重症患者数, 5月5日, 446

重症化・軽症化・死亡の人数



重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

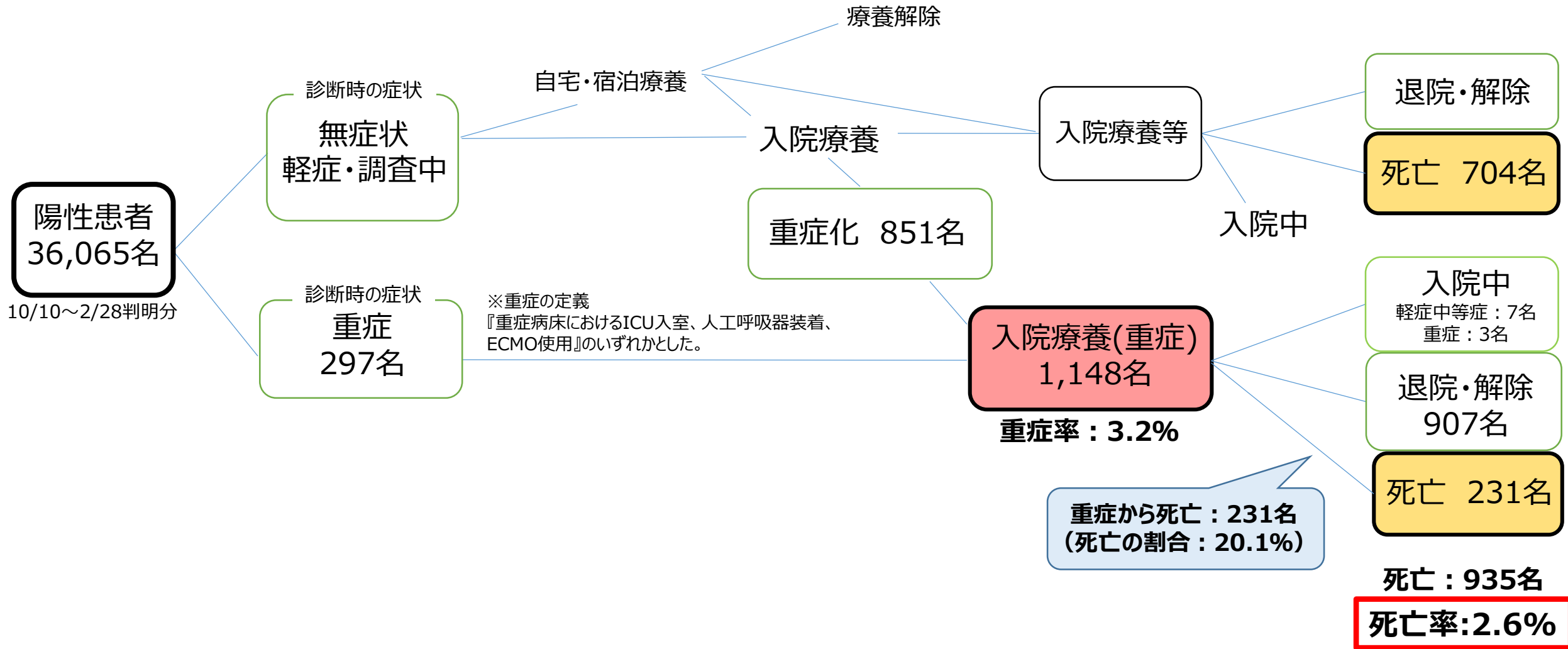
※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。



(参考) 【第三波】重症及び死亡事例のまとめ (令和3年5月2日時点)

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

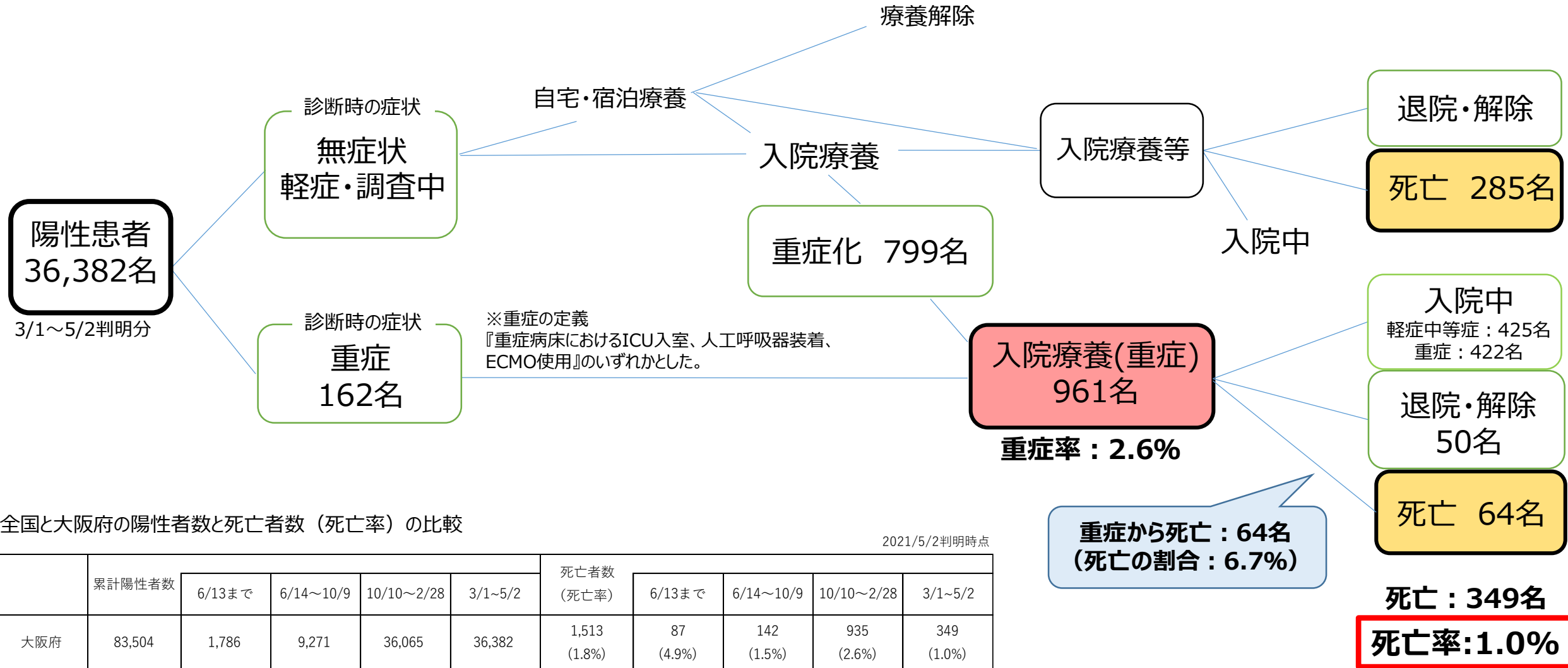
重症及び死亡例の経過



【第四波】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年5月2日時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

重症及び死亡例の経過



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/5/2判明時点

	累計陽性者数	死亡者数 (死亡率)								
		6/13まで	6/14~10/9	10/10~2/28	3/1~5/2					
大阪府	83,504	1,786	9,271	36,065	36,382	1,513 (1.8%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	935 (2.6%)	349 (1.0%)
全国	594,500	17,179	70,012	343,342	163,967	10,293 (1.7%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	6,262 (1.8%)	2,408 (1.5%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（5/2の国内の発生状況）より集計。

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。

重症者のまとめ（令和3年5月2日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。

第三波と比べ、重症者数に占める50代以下の割合が34.1%（第三波 17.5%）と大きい。

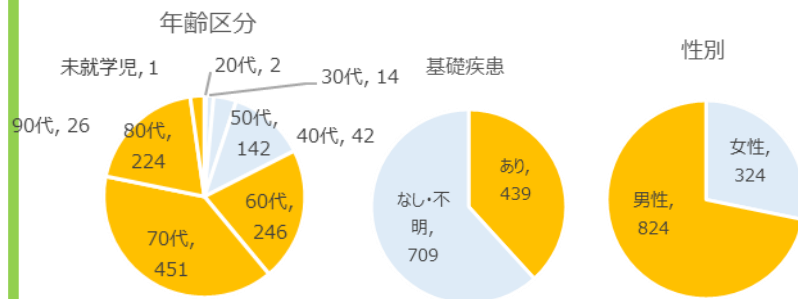
第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
重症者数（※）	1,148
死亡	231
転退院・解除	907
帰入院中（軽症）	7
帰入院中（重症）	3

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が4例あり

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.5% (1,131/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.8%(947/10,783)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,148/36,065)



平均年齢：66.1歳、60代以上の割合：82.5%

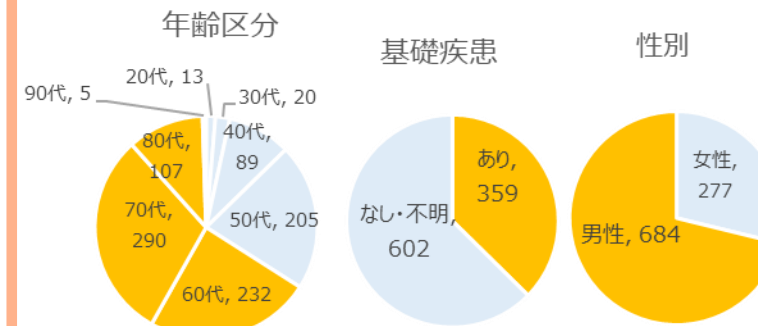
第四波（3/1以降）

新規陽性者数	36,382
(再掲)40代以上(割合)	18,458(50.7%)
(再掲)60代以上(割合)	7,940(21.8%)
重症者数（※）	961
死亡	64
転退院・解除	50
帰入院中（軽症）	425
帰入院中（重症）	422

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が1例あり

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.0%(928/18,458)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.0%(634/7,940)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：2.6%(961/36,382)



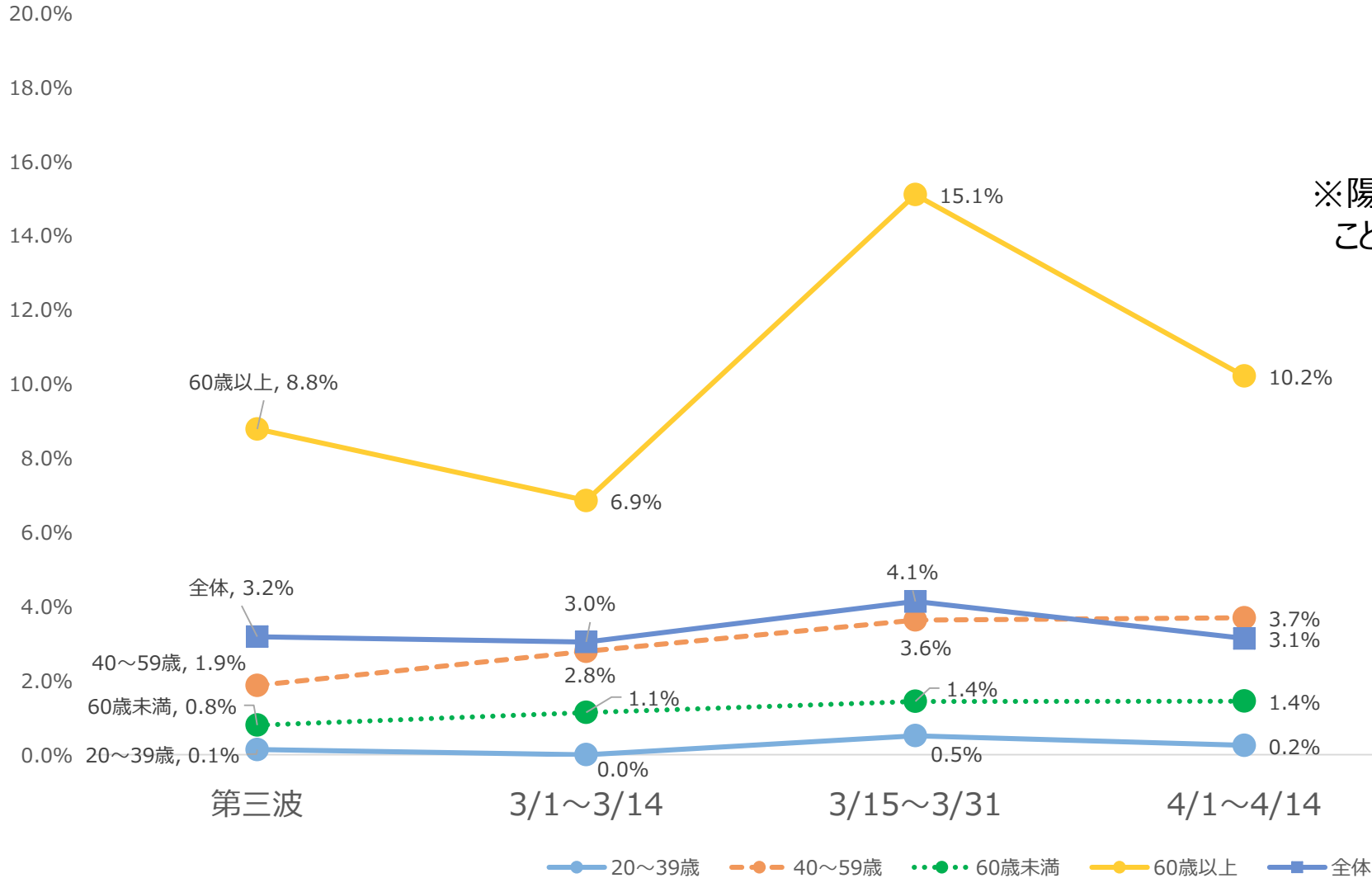
平均年齢：60.2歳、60代以上の割合：65.9%

年代別重症率の推移（令和3年5月2日時点）

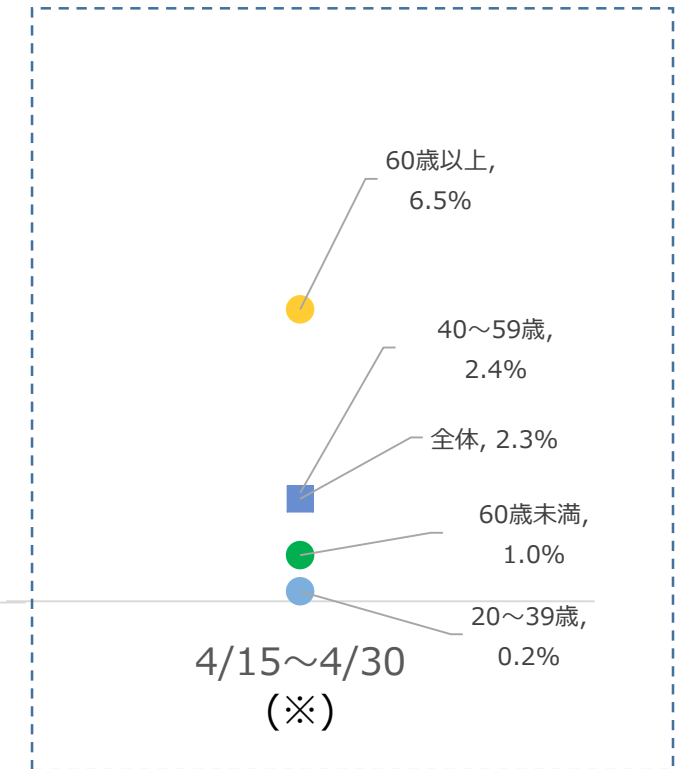
※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。

第三波と比べ、4月1日から14日までの40代・50代の重症率は、3.7%（第三波 1.9%）と約2倍高い。

年代別重症率の推移



※陽性判明から重症化まで約1週間程度要することから、今後、重症者数が増加する期間



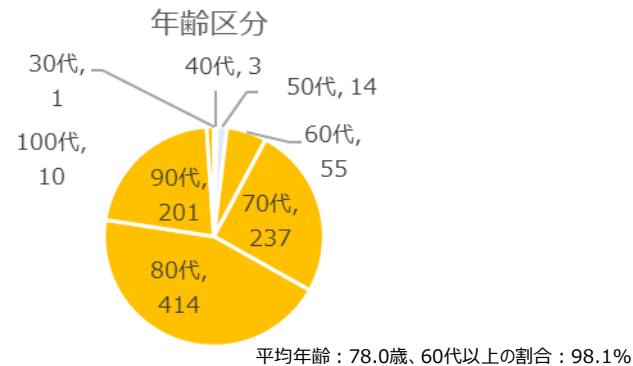
死亡例のまとめ（令和3年5月2日時点）

第三波（10/10～2/28）

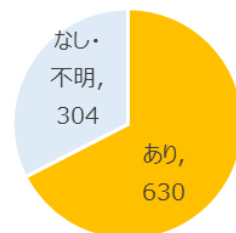
新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
死亡者数	935

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.5% (934/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：8.5%(917/10,783)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：2.6%(935/36,065)



基礎疾患

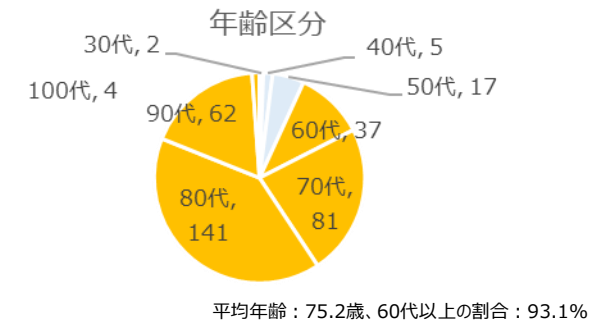


第四波（3/1以降）

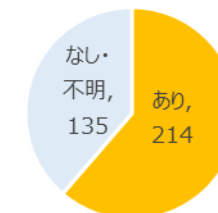
新規陽性者数	36,382
(再掲)40代以上(割合)	18,458(50.7%)
(再掲)60代以上(割合)	7,940(21.8%)
死亡者数	349

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.9%(347/18,458)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.1%(325/7,940)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：1.0%(349/36,382)



基礎疾患



新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

■ 第45回対策本部会議資料（資料1-4）のシミュレーション（想定①、想定②）に実測値をあてはめるとともに、想定③を追加。

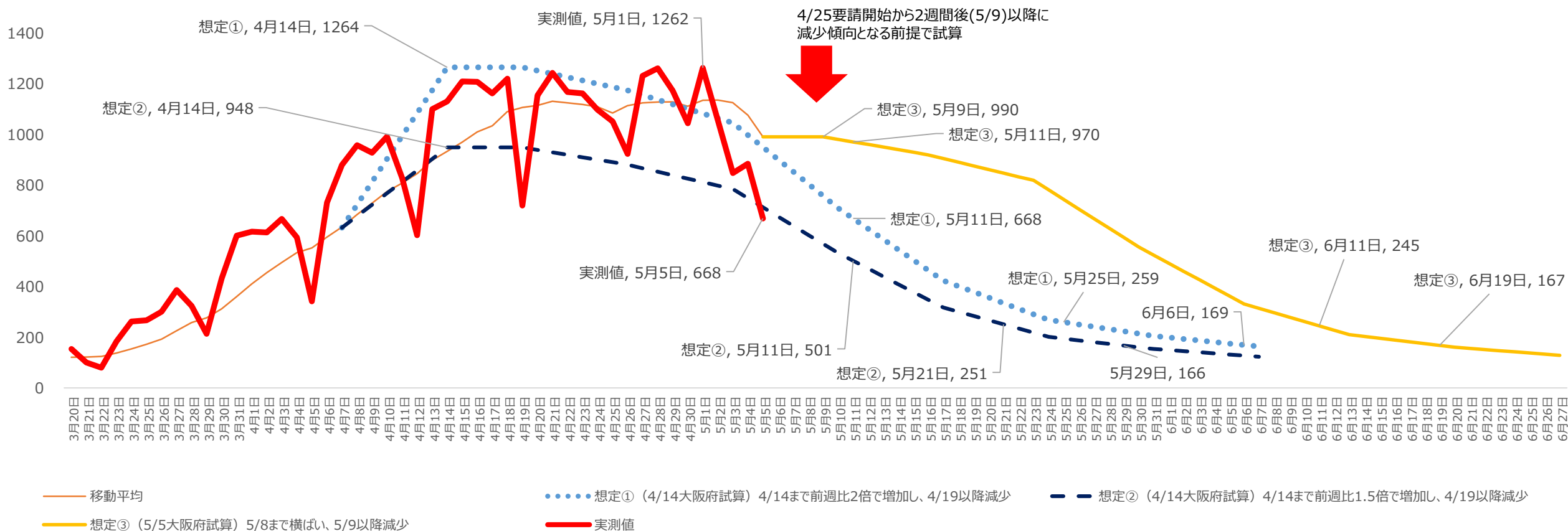
想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

※4/14から4/19までは新規陽性者数は横ばいになると仮定。

想定③：5/6から5/8までは990名/日（5/5時点の新規陽性者数の7日間平均値）の横ばいとなり、5/9（4/25緊急事態措置開始後2週間）以降、第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。

患者発生シミュレーション



直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が25（ステージⅣ）を下回る日：想定①5月25日、想定②5月21日、想定③6月11日

直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が15（ステージⅢ）を下回る日：想定①6月6日、想定②5月29日、想定③6月19日

療養者数のシミュレーション

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。

■以下の想定でシミュレーションを実施。

想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定③：5/6から5/8までは990名/日の横ばいとなり、5/9以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。

【陽性者数の設定の考え方】

■新規陽性者中の60代以上の陽性者の割合を18%（※1）と設定。

■新規陽性者中の40代・50代の新規陽性者数を28%（※1）と設定。

※1：4月7日時点の新規陽性者中の割合（7日間）

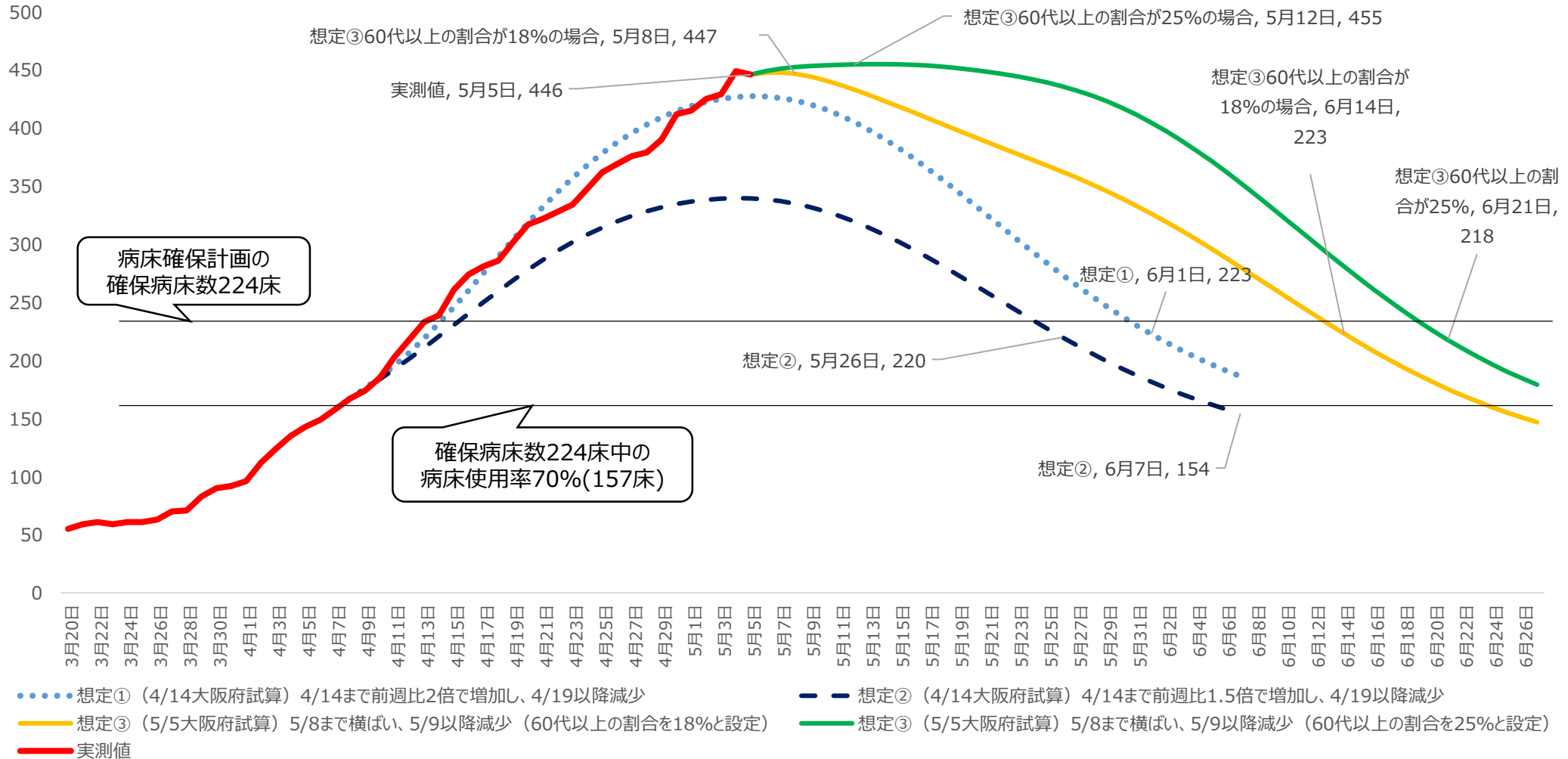
【重症率の設定の考え方】

■60代以上の新規陽性者の重症率は9.0%（※2）と設定。

■40代・50代の新規陽性者の重症率は2.1%（※2）と設定。

※2：第四波(3/1~4/5)における重症率

入院患者数（重症）シミュレーション



病床確保計画の確保病床数224床

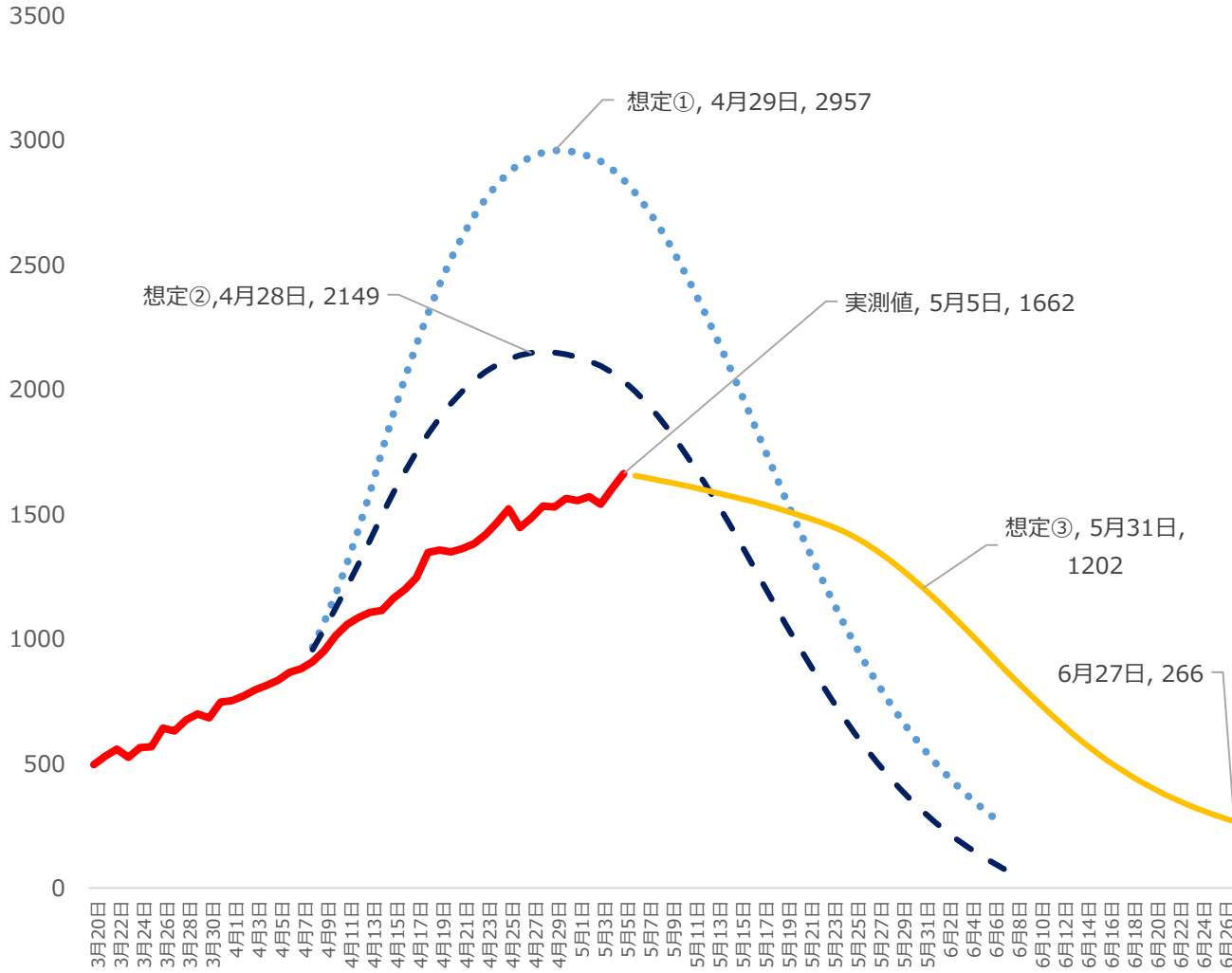
確保病床数224床中の病床使用率70%(157床)

- 想定①（4/14大阪府試算）4/14まで前週比2倍で増加し、4/19以降減少
- — — 想定②（4/14大阪府試算）4/14まで前週比1.5倍で増加し、4/19以降減少
- — — 想定③（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少（60代以上の割合を18%と設定）
- — — 想定③（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少（60代以上の割合を25%と設定）
- 実測値

※陽性者数や重症率の設定の考え方は4月5日時点の数値に基づいてシミュレーションを実施しているが、60代以上の割合は直近の数値（5/5時点の新規陽性者中の割合(7日間)25%)に基づきシミュレーションを追加実施。2 今後、重症率や新規陽性者中の60代以上の割合が増加（第三波では最大で35%程度）すると、重症者数は想定するシミュレーションの値よりも増加する可能性あり。

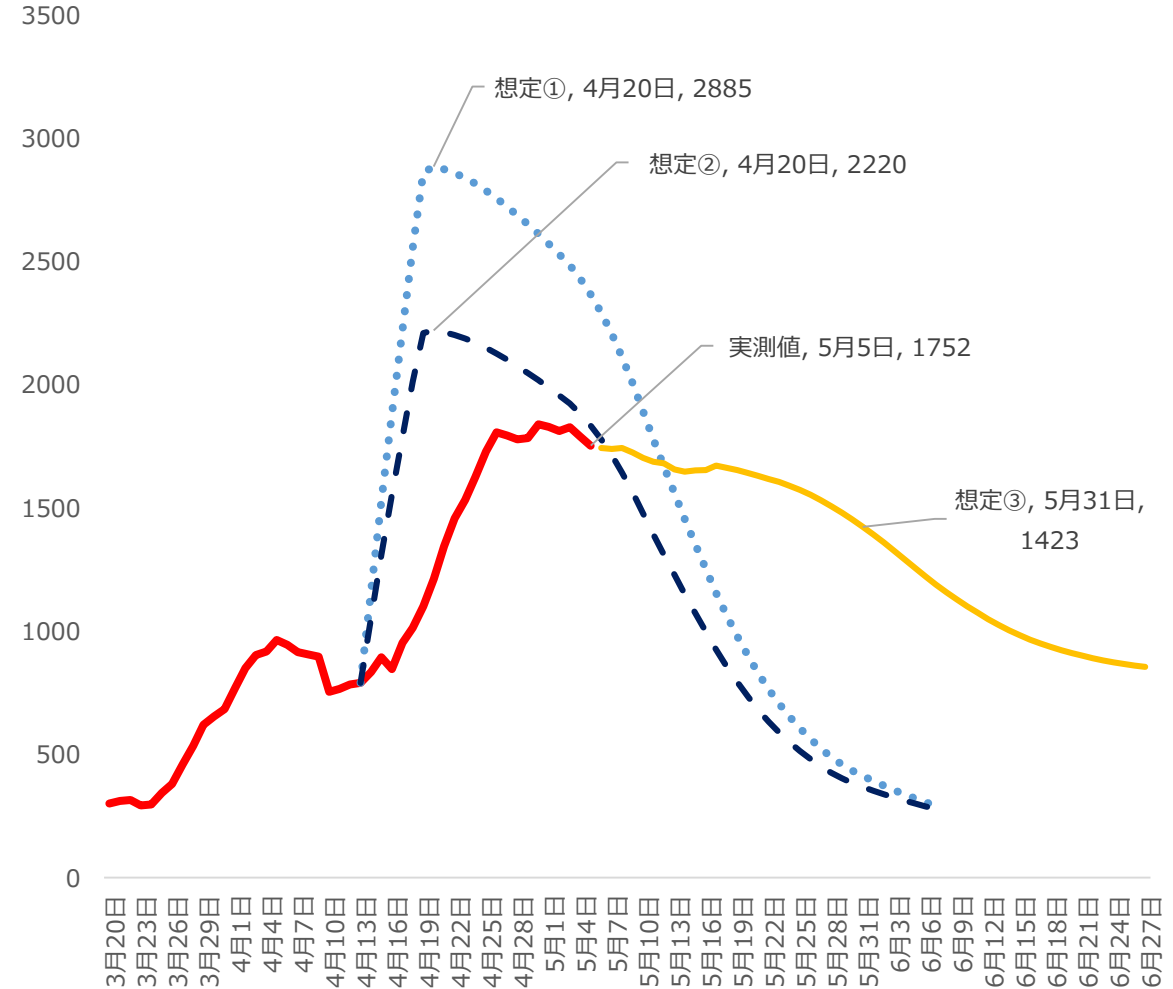
療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）シミュレーション



- 実測値
- 想定① (4/14大阪府試算) 4/14まで前週比2倍で増加し、4/19以降減少
- — 想定② (4/14大阪府試算) 4/14まで前週比1.5倍で増加し、4/19以降減少
- — — 想定③ (5/5大阪府試算) 5/8まで横ばい、5/9以降減少

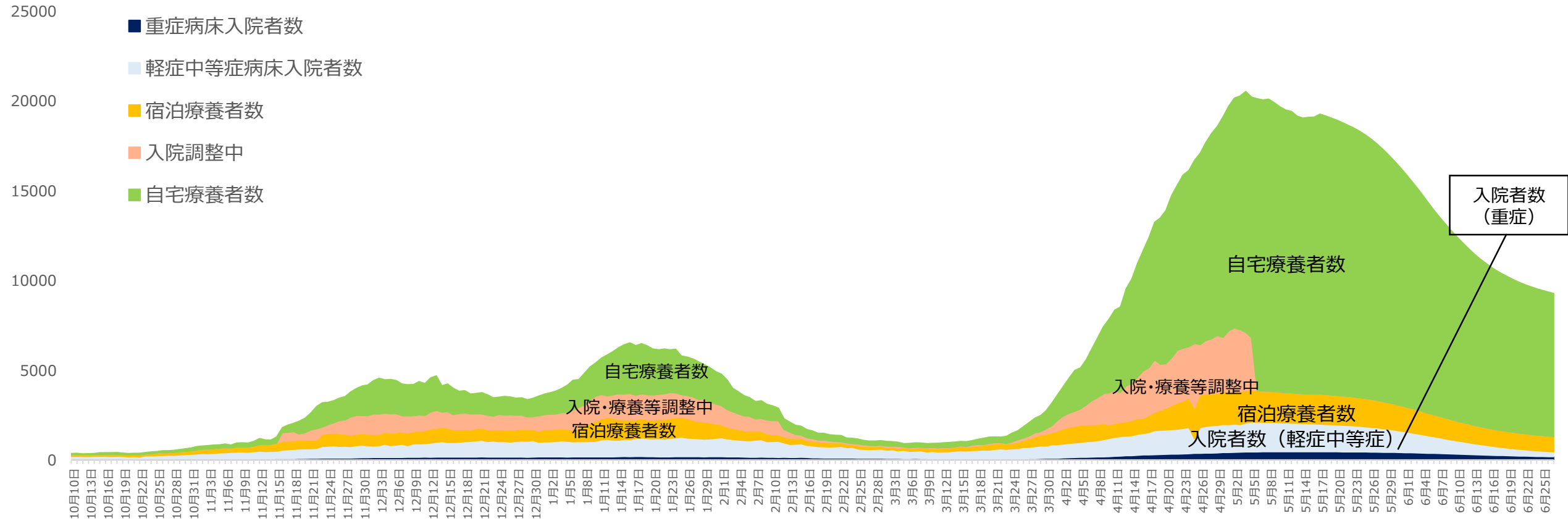
宿泊療養者数シミュレーション



- 実測値
- 想定① (4/14大阪府試算) 4/14まで前週比2倍で増加し、4/19以降減少
- — 想定② (4/14大阪府試算) 4/14まで前週比1.5倍で増加し、4/19以降減少
- — — 想定③ (5/5大阪府試算) 5/8まで横ばい、5/9以降減少

療養者数のシミュレーション

療養者数（5月6日以降は想定③シミュレーションの値）



	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31
新規陽性者数	990	990	990	990	980	970	960	950	940	929	919	904	890	875	861	847	832	818	781	743	706	668	630	593	555	523
重症病床入院者数	449	451	453	453	454	454	455	455	455	455	454	454	453	452	450	448	446	444	442	439	436	432	428	423	418	411
軽症中等症病床入院者数	1653	1644	1635	1626	1617	1607	1596	1585	1574	1563	1551	1539	1526	1513	1499	1484	1468	1451	1431	1408	1381	1351	1318	1282	1243	1202
宿泊療養者数	1743	1738	1743	1724	1703	1687	1680	1656	1646	1652	1654	1671	1662	1653	1642	1630	1617	1605	1590	1573	1553	1531	1507	1481	1453	1423
自宅療養者数	16269	16222	16266	16092	15890	15742	15678	15452	15363	15415	15433	15592	15513	15423	15322	15210	15095	14977	14837	14676	14493	14289	14063	13819	13558	13282
療養者数	20115	20056	20096	19896	19664	19490	19409	19148	19039	19085	19093	19256	19155	19040	18912	18772	18627	18477	18300	18095	17863	17603	17316	17005	16671	16319

新規陽性者の発生動向

(1) 大阪府の発生動向

- **直近 1 週間は前週に比べ減少しているが、一日平均約990名であり、極めて高水準で推移。**
(ゴールデンウィーク中の検査数減少に伴い、6日以降の新規陽性者数の推移に留意が必要。)
- 20・30代新規陽性者数は5月3日以降減少に転じ、他の年代も同様に減少傾向。
40代未満の割合は減少している一方、**60代以上は増加し、陽性者に占める割合は3割弱となり、今後の重症病床の更なるひっ迫が懸念。**
- 推定感染日別陽性者数においては、**まん延防止等重点措置適用後は横ばいで推移しており、新規陽性者数の指数関数的増加を抑えた可能性はある。**
緊急事態宣言発令を国に要請した4月20日前後から新規陽性者数が減少に転じた可能性があり、**緊急事態措置の効果の見極めが必要。**

(2) 市内・市外居住者の発生動向 (週・人口10万人あたり)

- 週・人口10万人あたり**市内外居住の新規陽性者数は、直近 1 週間で減少に転じている。**
各保健所管内別新規陽性者数は減少傾向にあるが、いずれもステージⅣの基準を大きく超過。
- 感染経路不明者の割合については依然 6 割を超過したままであり、**市内外ともに市中感染が多く発生。**

(3) 夜の街関連やクラスターの発生動向

- **新規陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者の割合は直近 2 週間で減少。**
居酒屋・飲食店に滞在歴のある新規陽性者数は、第三波緊急事態措置期間中ほどには減少していない。
滞在エリアでは市内外ともに減少している。
- **クラスターは、施設関連が発生件数の約半数を占め、直近約 1 か月では医療機関関連が増加。大学・学校関連や企業事業所関連は大きな減少傾向は見られない。一方、飲食・イベント等関連は急減。**

感染状況と医療提供体制の状況について

医療提供体制の状況

- 重症病床及び軽症中等症病床いずれも緊急要請により、医療機関の協力のもと、臨時的に増床を行っているが、**重症病床使用率及び軽症中等症使用率はいずれも極端にひっ迫した状態が続いており、確保病床を上回る重症者数が発生している状態が続いている。**
一般医療の一部制限も続いており、大阪府の医療提供体制は限界を超えつつある状態。
- 直近の新規陽性者数の平均値で試算したシミュレーションでは、**新規陽性者数がステージⅢを下回るのは6月下旬となり、重症シミュレーションで赤信号解除基準を満たすのは6月中下旬と想定。**
また、療養者数シミュレーションでは、療養者数は5月中旬まで20,000人程度となり、うち、自宅療養が16,000人前後となる可能性。

今後の対応方針について

緊急事態措置の延長により、府全域での接触機会の大幅な削減によって、感染収束の速度を急速なものとし、医療提供体制のひっ迫を早期に改善していくことが必要

契約施設の状況

施設名	所在地	室数	状況
大阪アカデミア(新館1)	住之江区	159室	稼働中
大阪アカデミア(新館2)		153室	稼働中
ホテルイルグランデ梅田	北区	245室	稼働中
ウェリナホテルプレミア中之島イースト	西区	310室	稼働中
アパホテルなんば南恵美須町駅	浪速区	234室	稼働中
リッチモンドホテルなんば大国町	浪速区	187室	稼働中
スーパーホテル大阪天然温泉	西区	400室	稼働中
ライズホテル大阪北新地	北区	210室	稼働中
ホテルコンサルト新大阪	淀川区	288室	稼働中
ジーアールホテル江坂	吹田市	230室	稼働中
ウェリナホテルプレミア中之島ウエスト	西区	284室	稼働中
アパホテルなんば駅東	中央区	359室	稼働中
アパホテル東梅田南森町駅前	北区	220室	稼働中

施設名	所在地	室数	状況
スマイルホテルプレミアム大阪東心斎橋	中央区	196室	稼働中
アパホテルなんば心斎橋	中央区	205室	5/7開所予定
計 14施設(3680室)			

【さらなる施設の確保】

新規感染者数が高止まりする中、
早期に開所できる施設を公募の中から新たに確保

■5月下旬に1施設(306室)新規開設予定

14施設(3680室)

⇒15施設(3986室)体制へ準備中

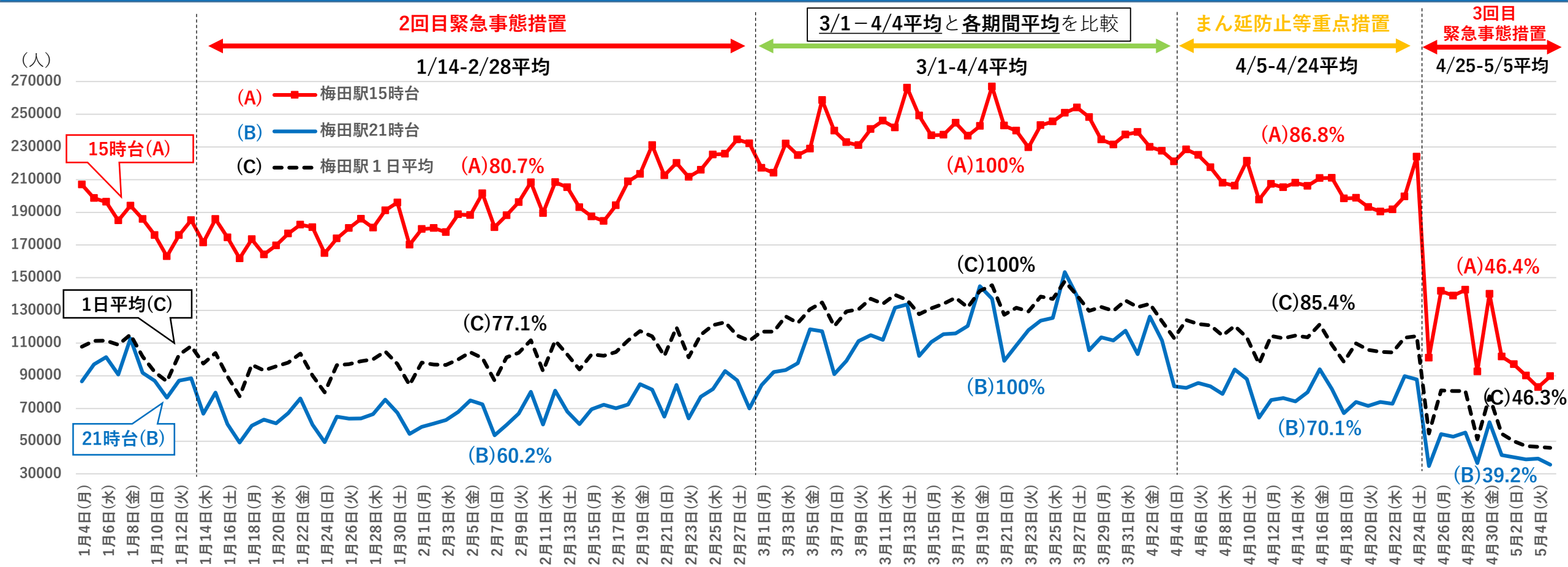
【参考】5/5時点

使用率約50% 1752人/3475室(療養者数/稼働室数)

※標準的な入所サイクルは平均入所日数6日、翌日健康観察の上、午後以降に退所、その翌日以降に清掃を行ったのち、新たな入所が可能となる。療養者数には、退所日と清掃日は入っておらず、理論上、使用率は6/8=約75%が上限となる。

【時間帯別】滞在人口の推移（梅田駅15時台・21時台）

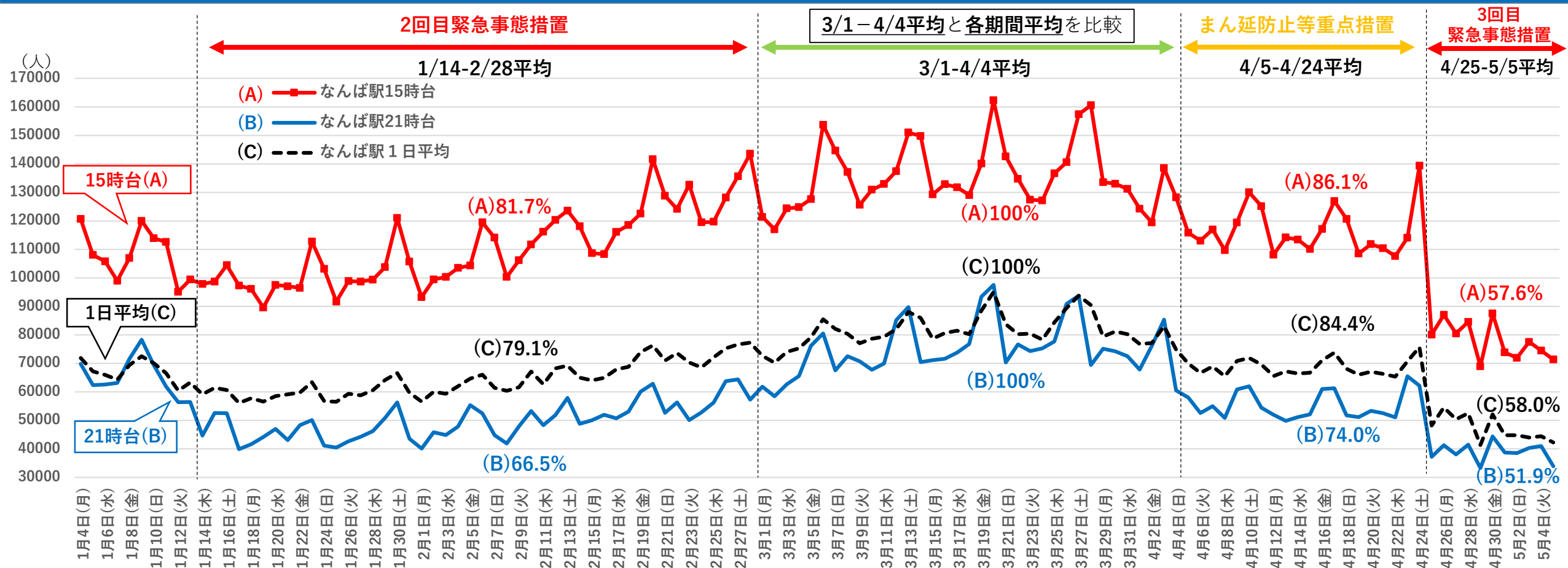
資料1-6



時間帯／比較 期間	3/1-4/4平均との比較				
	1回目緊急事態措置 (4/7-5/21平均)	2回目緊急事態措置 (1/14-2/28平均)	3/1-4/4平均	まん延防止等重点措置 (4/5-4/24平均)	3回目緊急事態措置 (4/25-5/5平均)
15時台	26.0%	80.7%	100%	86.8%	46.4%
21時台	21.2%	60.2%	100%	70.1%	39.2%
1日平均	27.6%	77.1%	100%	85.4%	46.3%

※駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント
(例)エリアに1人の人が、1時間滞在していた場合は1人、
30分滞在していた場合は0.5人として計算
【出典：株式会社Agoop】

【時間帯別】滞在人口の推移（なんば駅15時台・21時台）



3/1-4/4平均との比較					
時間帯／比較 期間	1回目緊急事態措置 (4/7-5/21平均)	2回目緊急事態措置 (1/14-2/28平均)	3/1-4/4平均	まん延防止等重点措置 (4/5-4/24平均)	3回目緊急事態措置 (4/25-5/5平均)
15時台	33.4%	81.7%	100%	86.1%	57.6%
21時台	30.3%	66.5%	100%	74.0%	51.9%
1日平均	35.2%	79.1%	100%	84.4%	58.0%

※駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント
 (例)エリアに1人の人が、1時間滞在していた場合は1人、
 30分滞在していた場合は0.5人として計算
 【出典：株式会社Agoop】

感染に強い飲食店に向けた「見回り隊」について（昼間の見回り調査）

資料1-7

緊急事態措置期間

（4月25日～5月11日） ※5月4日時点

大阪市内を対象としたまん延防止等重点措置のエリアを拡大し、**大阪府内の飲食店**（20時以降通常開店する店舗を除く約8万店）を対象に、感染防止対策の徹底及び緊急事態措置の要請遵守のため、市町村と連携し、個別店舗訪問を実施。

見回り店舗数 48,712店 （①+②+③+④）〔うち、大阪市内 37,364店〕

訪問店舗数 7,580店 （①+②）

①調査店舗数 7,362店

②協力い
ただけな
かった

③臨時休
業等に
よる不在

④店頭販
売・店舗
無し等

アクリル板の設置 （座席間隔の確保）		消毒液の 設置	換気の徹底		マスク会食 の徹底	酒類等の 提供の禁止	218	25,525	15,607
アクリル 板の設置	座席間隔 の確保		定期的 な換気	CO2センサ の設置					
目視	聞き取り	目視・ 聞き取り	聞き取り	目視	聞き取り	目視・ 聞き取り			
2,511	3,721	4,456	4,426	2,338	3,729	7,066			
53.7%	79.6%	95.3%	94.7%	50.0%	79.7%	96.0%			

※「酒類等の提供の禁止」以外は、緊急事態宣言後に新たに調査した店舗を母数とする。

※見回り店舗数等には、まん延防止等重点措置期間中（4/5～24）に調査した大阪市内店舗の再調査分を含む。

緊急事態措置期間

(4月25日～5月11日) ※5月4日時点

大阪府内の飲食店約10万店舗を外観等
(20時～21時30分)で確認

法45条第2項に基づく要請の手続き

①
○まん延防止等重点措置
期間中(4/5～24)の
協力要請の文書通知を
行った店舗
109店舗 (大阪市内)

②
未協力確認
済店舗
(架電による
確認)

③
未協力店舗への
実地調査
(府による指導
・助言)

④
協力要請の
文書通知
33店舗

⑤
個別店舗への
要請
(事前通知)

実地調査

⑥
個別店舗への
要請
(通知)

○4/25以降、外観等により
現地確認を行った結果、
営業中と思われる店舗
159店舗 (大阪市外)

法45条第3項に基づく命令の手続き

⑦
営業時間
短縮命令
(事前通知)

実地調査

⑧
弁明の機
会の付与
(2W)

⑨
営業時間
短縮命令
(通知)

⑩
店舗への現地
確認 (命令違
反の確認)

⑪
地方裁判
所へ通知
(過料)

【現在の感染状況等】

- ◆ 5月5日現在、政府分科会におけるモニタリング指標のうち、陽性率以外はステージⅣ相当。
- ◆ 緊急事態措置の開始（4月25日）から10日程度が経過しているが、新規報告数は高止まり。週・人口10万人あたり新規報告数（5月5日時点：78.65人）は、ステージⅣの目安（25人）を大きく超過。
- ◆ 重症病床及び軽症中等症病床含む病床占有率いずれも急増し、80%（国基準）を超過する状況が継続。

指標（抜粋）		ステージⅣ 目安	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	ステージⅣ 目安の状況
医療提供 体制等の負荷	確保病床の占有率	50%以上	80.3%	81.2%	80.2%	83.5%	85.5%	●
	入院率	25%以下	10.0%	9.9%	9.7%	10.0%	10.4%	●
	重症病床の占有率	50%以上	80.0%	80.2%	80.9%	80.4%	82.9%	●
	人口10万人あたり療養者数	30人以上	223.54	228.54	229.94	232.87	229.27	●
感染の状況	陽性率 1週間平均	10%以上	7.6%	7.5%	7.6%	7.3%	7.4%	○
	週・人口10万人あたり新規報告数	25人以上	90.06	90.14	89.29	85.37	78.65	●
	感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	62.5%	63.1%	63.8%	63.0%	62.7%	●

（現在、5月11日までとなっている）緊急事態措置を実施すべき期間の延長を国に要請する

【参考】緊急事態宣言解除の考え方（4/23 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針より抜粋）

国内での感染及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫の状況（特に、緊急事態措置区域が、分科会提言におけるステージⅢ相当の対策が必要な地域になっているか等）を踏まえて、政府対策本部長が基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で総合的に判断する。

なお、緊急事態宣言の解除後の対策の緩和については段階的に行い、必要な対策はステージⅡ相当以下に下がるまで続ける。

専門家のご意見（専門家会議・朝野座長）

緊急事態宣言の延長の要請は必須であると考えます。

【感染状況に関して】

資料 1-4 に示された状況の解釈におおむね同意する。そのうえで、いくつかの異なる視点を提示する。

- ・ 直近 1 週間は減少に転じたが、依然、1 日平均約 1000 人程度の新規陽性者が発生し、高水準で推移している。

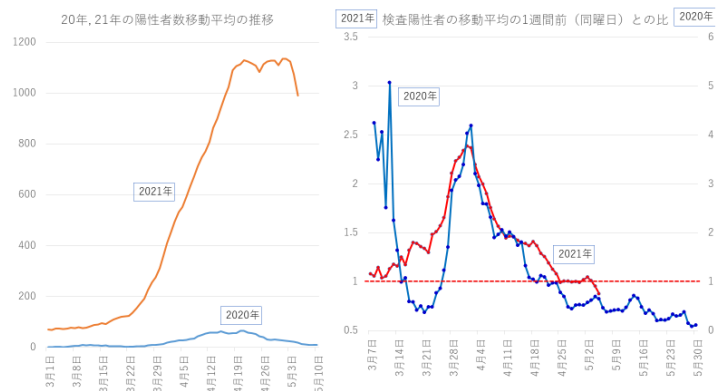
➤ 現状の流行曲線（資料 1-1 の 1 ページ、2 ページ）について、まん延防止等重点措置などによる効果で高止まりとする解釈以外に、1,000 人を超える新規感染者が出ていたため、疫学調査がひっ迫し、濃厚接触者などの陽性確率の高い集団をとらえきっていない可能性を指摘する専門家の意見もある。一方で、疫学調査が対応可能と考えられる近隣の府県の実効再生産数が 1 以下になっている（東洋経済新型コロナウイルス 国内感染の状況 (toyokeizai.net)）ことから、実際に大阪の新規感染者数も高止まりであるとする専門家の意見もある。（内閣府主催の専門家の会議より）

- ・ 連休後の急増の懸念

➤ 今年の 1 月、年末、年始の休暇明けに急激に感染者数が増加してきた時と同じ経過をたどる可能性が懸念されている。一方、4 月 5 日からのまん延防止等重点措置、4 月 25 日からの緊急事態宣言による人流の抑制効果が有効ならば、連休後の急増も抑制される可能性がある。すなわち、連休後に感染者数が増加しなければ、緊急事態宣言の人流抑制の効果を評価する指標となる。

昨年（2020 年）の第 1 回目の緊急事態宣言（令和 2 年 4 月 8 日～5 月 7 日）による効果と比較すると、これまでの経過は感染者数の規模は圧倒的に異なるが、移動平均の対前週比のパターンが類似している（右図）。

実際、推定感染日による感染者数の推移（資料 1-1 の 9 ページ）では、4 月 15 日以降減少傾向がみられており、人流も連休中に抑えられており、昨年同様人流抑制の効果に期待したい。



・ 60歳以上の新規感染者数の割合が2割から3割弱へと急増し、今後の重症病床のさらなるひっ迫が懸念

- 60歳以上の割合の増加は、20代、30代の若者の減少による相対的なものであり、大阪府は元々30%を超えていた。割合よりも実数が重症病床に相関し、現在は60歳以上の感染者数は横ばいからやや減少傾向になっており（資料1-1の8ページ）、割合が増えても重症者数の増加の直接の要因になる可能性は低い。もちろん、施設内、院内感染による高齢者への感染が増えれば、重症者が増えるので、施設内、院内感染の増加傾向には今後も強い対策が必要である。

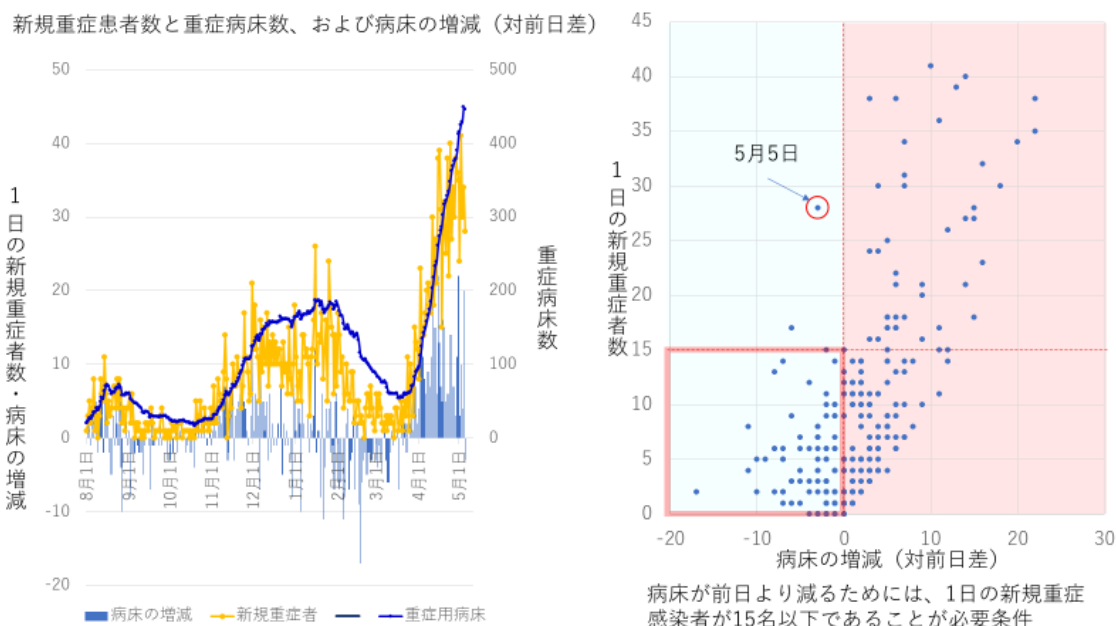
【医療提供体制について】

重症病床運用のピークはいつ来るか？

資料1-3の2ページに重症患者数の推移のシミュレーションが示されている。ピークの時期の予想によってステージⅢになる時期が異なるため、重症病床がピークを超えるための条件をこれまでの大阪府の状況から解析する。

大阪府の2020年8月以降の重症病床の対前日の増減と、当日の新規重症患者数との関係を解析してみると（下図）、新規重症患者数が15人以下になることが重症病床を減少に転じさせる目安となる。1日新規重症患者を15人以下にするためには、重症化率を3~4%とすると375~500人/日以下まで減少させることが重症病床のピークを超える条件となる。

このことから、新規患者数が400人/日を下回るまで重症病床が増え続ける可能性があり、資料1-3の1ページのシミュレーションでは、新規感染者数が400人/日を下回るのは5月の下旬であり、それまでは重症病床の増加が続く可能性があり、今よりもひっ迫が強くなることも予想されるため、病床確保のための対策が必要である。



【医療体制に関する要望】

- 現在の大阪の医療提供体制は、医療機関の限界に近い献身的な努力で支えられている。緊急事態宣言から次の対策に移行する医療提供体制の条件として、以下を満たした場合と考える。
 1. 重症専用病床にすべての重症患者が入院できるようになる
 2. 入院が必要な重症化リスクのある感染者が必要な医療を受けられるようになる
 3. 救急や手術など必要な一般医療が実施できるようになる
- 自宅にて死亡、悪化する患者がいる。現在ホテルでは酸素吸入、点滴が可能である。病院の入院率に比べ、ホテルなどの施設の使用が 50%程度であることは、感染者の振り分けのロジスティクスが目詰まりが起こっているのか、何らかの原因があるのであれば速やかに解決することが必要。
- 医師会などの協力を得て、医師の自宅やホテルへの往診、点滴、酸素投与などの治療の実施を拡大する方策が必要。
- ワクチンの接種を迅速に拡大することが重要。